京城日報

十二日夕刊

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目

第三十七回帝國議會

衆議院（十二日）

▲質問戰稍盛也

衆議院に於ける豫算總會第二日目は十一日午後二時五十分再會午前の質問を繼續し石橋爲之助氏（公友）外交問題に付き（一）對支警告に對し今後如何なる方法を以て結末を付くる心算なるや（二）東洋に於ける日本の地位を列國に周解せしむる必要上支那に於ける外交機關を有力ならしめざる可らず之が機關刷新の要なきや（三）漢冶萍日支合辦事業及び吉長鐵道の管理權如何（四）日支間に起りし代償事件は如何なる解決を付けしやと問ひ

△石井外相 支那に對する國體變更延期勸告の結末に關しては今後方法に就き關係列國と協議指定事項あるを以て今之を言明する能はず對支外交は重要にして其機關としては北京に公使あるも事實は大使館と同様なり今春特に書記官參事官を増置せり漢冶萍合辦及び吉長鐵道に關しては目下商議中にして未だ發表の時期に非ず又日支間に於ける大小事件の爲め別に日支親善を害するが如き事なしと答ふ次で

△石橋爲之助氏 は佛國に注文せる潛水艇英國に注文せる驅逐艦は如何になりしや海軍々規に關しては昨年來時々不詳事件あり今夏鎭海に於て鹿島が周防に向つて發砲したる事ありとの報あるが如何と質し

△加藤海相 は佛國に注文の潛水艇二隻中一隻は竣成し一隻は艤装中にて來春廻航し來るべく英國に注文の驅逐艦は一隻は廻航し一隻は建造中なり又鹿島が周防に發砲したるは夜中にて標的を過りたるにより幸に損害輕微なりと答へ

△石橋氏 更に過日獨逸の俘虜逃亡事件より兵器賣却の結果我が兵器に不足を來さゞるや新聞紙法改正は今期議會に提出するや否やと雜多の質問を連發すこれに對し

△眞鍋陸軍參政官 俘虜の逃亡は取扱ひ緩なりし結果に因らんか將來大に注意せり、兵器賣却の結果何等の缺陷を見ずと答へ次で

△一木內相 新聞紙法改正法律案は目下調査中にして本議會には提出覺束なからんと答へ次ぎて

△西村丹次郎氏（國民） 大正五年度豫算中政府の宣言せし政綱政策の實行と認むべきもの毫もなし政府は戰後に於ける經濟的豫想ありやと問ひ更に日獨開戰と日英同盟との間に就き外相に質す所あり石井外相は前日の長島君に內示したる答辯を以て諒解ありたしと簡單に答ふるや西村氏更に外相に追窮しければ外相は日獨開戰の原因は當時發布せられた詔書及び加藤外相の答辯により明白なり就いて御承知ありたしと又も相手にならざりしより西村氏愈々敦圍き大聲を張上げて肉薄するや外相は明答を避くるに非ず當時の速記錄を一覽せば明白なればなりと飽くまで受け流し

△小久保喜七氏（政友） 議事進行に就き意見ありとて西村君の質問は今期議會に於て始めてなり之れに對し明答を與へざるは不親切なりと西村氏に聲援し委員長との間に二三の小競合ひありたるのち西村氏は質問を續け宣戰の詔勅及び速記錄あるを以て答辯の必要なきやと追窮したるに外相癪に障りしこと見え一言答へたる而已にて降壇するや西村氏躍起となりて外相の答辯なきを以て余は自問自答すべしと脫線して滿場を笑はせ片岡委員長より注意を受け稍態度を冷靜にし滿蒙條約中內蒙古境界は如何に決せりやと問ひ外相支那と交涉未了にて御答へするに至らずと答へ西村氏は今度は陸軍兵器賣拂代金を如何と穀國大隈政府委員は明後日頃陸軍大臣出席せらるべきにより其まで待たれたしと受け流し猶も西村氏海軍に建艦費の內譯を質し藏相が明年度豫算編成上の彈力なきを責め押問答を試み午後四時十分散會せり（東京特電）

◎本月上旬貿易 十二月上旬對外貿易に於て輸出は二千四百零八萬五千圓輸入千五百四十二萬七千圓差引八百六十五萬八千圓の出超を示し一月以降の累計出超額一億五千七百餘萬圓に達せり（東京特電）

◎李埈公殿下 大典に參列したる李埈公殿下は六名の隨員を從へ今朝十時發汽車にて京城に向へり（釜山特電）

歐洲大戰亂

▲米國對墺國交斷絕準備

米國政府は若しアンコナ號撃沈に關する墺國政府の回答滿足ならざるに於ては同國との國交を斷絕す可く準備せりと傳へらる（紐育電報）

▲英佛軍塞國外に驅逐さる

巴里來電＝巴爾幹に於ける英佛軍は全く塞國外に驅逐されたり又勃軍は英軍の大砲十門を捕獲せり（紐育電報）

▲巴爾幹聯軍の形勢危急

倫敦タイムス紙は社說中に論じて曰く、聯合軍の形勢は忌憚無く言へば極めて危急なり英佛兩軍の戰線は漸く迫び壓められ殊に寒心に勝へざるは勃軍が既に佛軍の左翼より其背後に出でたりと云ふ一事なり事未だ確報に接せずといへども兎に角英佛軍が艱難を排して危地を脫せんとしつゝあるは事實なる可しと（倫敦電報）

雜報

◎山東省の地質

東北帝國大學は支那地質に關する研究資料蒐集の爲山東省方面に早阪理學士を特派せしめたるが同氏の談に曰く彼の有名なるリヒトホーフキン氏の山東省地質に關する學說には山東の炭田は下部石炭期の石炭なりと稱し七八年前米國カーネギー研究所派遣の學者ウイリス、ブラックウルダー兩氏の調查報告に依れば上部石炭期の石炭なりと稱し兩者全く反對の意見を發表し居れり、此等學說の相違分岐點を第一に研究し進んで從來書物にて研究せし山東省の礦山及び地質を實地と對照調査する心算なり元來地質等にては地層を太古代、古生代、中生代、新生代に分てり而して滿洲の煙臺本溪湖朝鮮の平壤等の炭田は古くして古代植物の羊齒類の炭化したる層ありて古代生の末期に當たる二疊期に屬し滿洲撫順炭田は新しくして松柏杉等の炭化したる新生代の第三紀層に屬するものと矢部博士等は斷定したり淄川炭田は滿韓の炭田に比して古きものと信ずれども實地調査の上ならでは明言し難し青島附近は太古代の炭石より成り勞山より東方に行けば水成岩あり而して膠州灣の周圍には花崗岩の間に片麻岩現はる嶗山島、白沙河には石炭基層あり而して山東省特に膠州灣に瀕れる處は地質として溫泉も湧出し得べく花崗岩の石英中には金塊金砂の混じ居る事も有り得べき事なり十年前淄川附近河原の砂中に米國宣教師は金剛石を發見せりとの報告ありたれば山東省の地質鑛物の研究も全く無益にはあらざるべし現に北は維縣州南は沂州に金の産出しつゝあり因に同氏は又淄川濰南泰山方面に向ひたるが明年夏期には東北大學の三年生をして大に山東の鑛物地質を調査研究せしむべき豫定なりと語れり（青島）

◎資金借入協定 蔘業組合の新起債

開城蔘業組合は漢湖農工銀行に對して明治四十三年以來の負債額合計六十萬圓に達し居たるが其內四十萬圓は本年償還せるも明年は三年根以上の蔘圃百萬間の外新耕作間數約三十萬間に達する豫定なるを以て之れに要する資金鮮少ならざるより同組合にては先般之れに對する新起債を計畫し當局と密議中なりしが協定成立を告げたるを以て不日漢湖農工銀行と受渡の手續を履行す可し

◎紅蔘製造終了 總額二萬四千餘斤

開城出張所に於ては十日紅蔘の調製作業を終了せり、本年の製造額總計二萬四千四十斤にして豫定額に對する超過額は四十斤なり而して三井物産に對する拂下價格は目下尙ほ密議中なりと

◎選擧名簿確定 選擧當日の心得

京城商業會議所の選擧名簿縱覽は去る六日より開始され十日中を以て終了したるが同名簿の內容に就て異議の申立を爲さんとするものは來る十四日中に行ふ可きものにして同日を以て選擧名簿は確定するに至るものなり而して選擧は十五日午前九時より午後一時迄二級の投票を行ひ二時半迄に開票其結果を公表し更に三時半より四時迄一級議員の投票を行ふものなるが今回の選擧は從來のものとは大に其手續を異にし居れば豫ねて會議所より配布し置ける選擧人心得は充分に熟讀して投票する方双方の便宜ならんと尙ほ選擧委員長の選定に就ては西村道彥關繁太郞兩氏の內に依頼することゝなり居たるが多分關繁太郞氏年長者たると從來深く會議所に關係を有したるとにより決す可き模樣なり

◎名刺交換申込盛況

京城の名刺交換會は九日發表以來京城府內に事務所を設置して取纏め中なるが從來の年にても大抵千二千と申込者ありたる位なれば本年は御大典擧後間もなき新年なれば例年に比し申込者も多數なる可く既に受付開始後千人に近き申込者ありと云ふ大盛況なれば希望者は必ず二十日の期日迄に申込を爲す可く期日經過後は從來の如く延期等は絕對に行はず二十日に締切り翌二十一日を以て全部整理し直ちに印刷に附する筈なりと

◎實業會評議員會

京城實業會の組織は既記の如く數日前京城ホテルに於て發會式を擧行したるが其後總督府に於ては京城商業會議所と同一の性質を有するものなれば何等か其目的を變更しては如何のと交涉ありたるに依り實業會にては十三日午後二時より京城商業會議所樓上に評議員會を開き今後の方針に就て協定する所ある筈なりと

◎大阪より

▲大局を辨ぜず 金融の緩漫にして遊金の夥だしき適當の放資なきに苦しみつゝ大正四年下半期を經過したる銀行業者は歐洲戰爭が尙向後一歲を越ゆべしと思惟せず尠くとも獨逸が戰局を南方巴爾幹に移して此處に雌雄を決すべく想像されざるに非ざれど冬期を經過して春暖の候軍事上の活動と外交政策に基づく其離合乖離によつて略ぼ結果を告ぐるに至らば內地産業は遙かに振興すべく現在にても企畫されつゝある諸事業も多くは戰亂終熄後を俟て決行すべき模樣なれば徒らに此苦悶の脫出に焦慮せず時機の到來を俟べし從つて金融の波瀾を憂ふるよりも遙に大に其來るべき金融の逼迫に備ふるは現在利用問題等にて議論をなすは未だ大局を辨せざる譏を免れずと某銀行家は語れり

▲輸出糖處分解決 八日夜聯合會々合により懸案の輸出糖處分は解決せられたり即ち內地消費糖二百三十萬擔とし其の一割二十三萬擔を輸出に當つることゝして年一擔二圓の輸出獎勵金を交附し其交附金四十六萬圓は二百三十萬擔に振充て輸出すべしと

▲洋紙復又値上 戰亂の餘波を受けたる紙價は一般に昂騰せるが洋紙も益々價格の引上を見十日の洋紙聯合會の臨時總會にて又復之が値上げを決定し即日實施すと

▲大阪電燈決算 九日の重役會にて年一割二分の利益配當案を查定し取締役五名の改選をなし何れも重任に內定し常務岩本榮之助氏は平取締役となり一名の缺員に推擧すべき改野氏代つて常務たる既報の如し

▲硫安輸入減退 米價恢復は未だ肥料界を振興せしむる迄に至らず形勢依然舊の如くなるが從つて硫安の英國よりの輸入も減退の趨勢を持續し十一月中の英國より日本へ積出額は四百噸にて其全積出三萬五百噸より見れば從來最需要國たる日本輸入の如何に少額なるを知るに足るべきか今本年度累計僅々一萬三百二噸なるに比し昨年一箇年八萬八千噸一昨年十五萬五千噸に對照せば約十分の一の減退なりと（支局發）

▲福引景品進呈＝十二月十二日より三十一日まで
▲實用的の＝お珍らしい御贈答用品……澤山
歲暮大賣出し
▲商品切手 東京、大阪、名古屋、平壤、大邱、安東縣共通
京城本町二丁目（電話二七四七五番）
龜屋

優良經濟 TRADE MARK
◎値上廣告
宮田 アサヒ パーソン サンライス號 自轉車
國華製 ミスター
●實物店全國到る處有名なる自轉車店
●模造品多し各部分の印商標に乞御注意
◎今回材料騰貴の爲め各製品價格壹割宛値上仕候也
發賣元 宮田製作所

撞球界の泰斗 玉乃一熊著 菊判上製三百餘頁 總クロース美裝函入
撞球指南
定價壹圓五拾錢 郵稅本社負擔
著者玉乃氏は球界の泰斗にして吾球界の爲に貢獻する所多大なるは、苟もキユウーを手にする者にして之を知らざるものなき所也。我國斯技の今日の如く發達せるは、一に實に氏の賜といふべし。而して今日斯界に有名なる田村、鈴木、友石等の一流の諸選手、皆氏の教を受けざる者なし。就中數年來歐米各國を往來して世界的大選手の稱號を爭ひつゝある彼の山田浩二氏（本書には山田氏の序文あり）の如き、最も永く玉乃氏の薰陶を受けたる一人なり。而して山田氏のマツセーが、現時世界第一と稱せらるゝ所以のものは、氏の嘗て玉乃氏に就き斯技の蘊奧を究めしに因らずんばあらず歐米選手多しと雖も、學理と實地とを兼備し、人に教ふるに妙を得たるもの蓋し玉乃氏の右に出づる者なかるべし。氏今本書に於て斯技の蘊奧を吐露す。書中說く所、氏が二十年來研究せる撞球の理論と方法に就て細大漏す所なし。本書は實に斯技の階梯なり而して推理論斷、初學者を導く懇切叮嚀たり。斯技の秘訣を披瀝せる、亦實に選手に對する指南車たり。初學者は之によりて斯技の迷を十年難解の疑團を氷解すべく、後學者は之によりて大成を期すべく、實に是れ球界空前の大名著なり。
大取次所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

寒靄（南大門外にて）

●軍艦淺間の復活
關東丸を從へて布哇寄港

墨西哥沿岸インセンダ沖に於て座礁したる帝國軍艦淺間は爾來乘組將卒の盡瘁と工作船關東丸の浮揚工事成功し歸航の途にあるとは既に報せるが如し然るに同艦は十一月二十日朝關東丸を從へ突如布哇ホノルヽに入港したれば在留邦人は夢かとばかり打歡び爭うて同艦を訪問し萬歲を三唱して大に將士を犒ひたるが國際公法の示す所に從ひ二十四時間以內なる二十一日午前七時四十分拔錨出港したり二十日同艦を訪問したる在布記者に對し一機關大尉は遭難當時の實況と乘組將士の沈著なる態度につき語つて曰く

■自畫自贊では無い

我が日本軍人は何處までも世界一だよ淺間が墨國タートル灣口の暗礁に擱座したのは忘れもせぬ二月五日の午後二時である、淺間を惱ました暗礁は海圖に記してない、記してないも道理該暗礁は年一度の大干潮の場合のみ暗礁として現はれるので其日を除く外は海深く沈み船舶の航行に何等の障碍を與へぬからである、淺間は不幸にも年に一度しかない大干潮の日に同所に通り掛つたのだ、それでも午前中ならば無事だつたが恰度干潮の最中だつたから堪らぬ、不幸にして彼のやうな災難に出會したのである、記憶は未だ新しい其の日午後二時頃僕は受持の部署に就て任務を執つて居ると不意に物凄い響と共に

■非常な震動を感じ

た、元來淺間には錨を卸す時振動を來する癖がある、併し錨を卸したにしては振動が酷いがと不審の首を傾けて居るとゴーメキ〳〵といふ物凄い音がする、扨ては座礁かなと氣付くや間もなく艦長から電話で『坐礁防水用意』の非常命令が下つた、それッと直に兵員を指揮して迅速に作業に著手したが損害程度甚だしと見え水は滾々と機關室に侵入を始め刻一刻と增して來て靴から膝から遂に

■腰部まで水に浸る

やうになつた併し艦長から命令に接しようが我等は一步も現位置から動かざる限り縱令機關室が全部水に沒しようとは出來ぬ、僕は觀念の臍を極めて靜かに部下の兵員を見渡すと愛すべきかな彼等は少しも慌てふためく狀なく又生死相關せざる平然たる態度を以て作業を續けて居る僕は此時感じた平常の鍛錬は生死の場合に始めて現はれる、彼等は何處迄も世界一の强兵である、と浸水が胸部に達する頃艦長から全員中甲板に引揚げ他の兵員と協同防水作業に服すべしとの命令に接して機關室を去つたが浸水は益々酷しく午後六時頃には既に中甲板を浸した、けれども七百の乘組兵員は一樣に泰然騷がざる態度を持續して非常作業に從事した……之も遭難當日の話である、淺間の艦底が破れて浸水滔々全員は必死となつて防水工事に從事して居た時其近海に出てゐた

■鮑採の日本漁船

數艘はなつかしい帝國軍艦が來たといふので馳參じ、淺間の外觀何等の異狀なく悠然と泛んで居るのを見て勿論座礁とは夢露知らず歡迎の意味を以て艦を一週し切りに萬歲を連呼する、艦員は萬歲ところの騷ぎぢやない此大椿事の勃發に火の如くなつて活動してゐる矢先一方ならず癪に觸つたもの丶先方は事情御存知なしの好意でやる事とて怒る譯に行かず座礁の旨を告げると『ソリヤ大變ッ』と彼等も吃驚したのは悲劇中の喜劇であつた』云々

■墨兵大砲の分與方を迫る

カランザ將軍の使者來訪　淺間遭難の當時は恰も墨國革命亂の高潮に達した際であつたので淺間を中心とした種々の珍談が持ち上つたが多くは軍機に關するものだから表する譯には行かぬ、併し次の如き喜劇的なのはお話しても差支はあるまい』と冒頭を置いて乘組の某將校は語る、淺間がまだ離礁せず將卒は寢食を忘れて浮揚事業に從事してゐた時或る日墨國憲政軍の首領カランザ將軍の副官某は二百名の兵卒を率ゐて物々しく訪問して來た先方の望むが儘に艦長吉岡大佐はカ將軍の使者といふ其副官に面會して來意を質した處副官は曰く予はカランザ將軍の使者として貴下を訪問する者である、カランザ將軍は貴艦の遭難に對し多大の同情を寄せ出來得る限り便宜を與へんことを貴下に傳達すべき旨を予に命令したと先づ挨拶を述べて後ち更に語を繼ぎ而し茲にカランザ將軍は貴下に御願したき事がある外は他にあらずカランザ將軍は麻の如く亂れた墨國の天下を統一し人民を塗炭の苦みより救はんと義兵を擧げて居るが悲しいかな武器に事缺ぎ充分の活動をなす能はず、是れ頗る遺憾とする所希はくば貴艦より大砲

一門とそれに添ふ彈藥の分與を受けたし精鋭なる我日本の大砲は偉大なる効力を以て我が義なる目的を助成せしむることを疑はずといふお使者の口上である、此兒戯に等しい交渉を受けて

■吉岡艦長は冷然

として『帝國軍艦は天皇陛下の命を畏みて預つて居るものである、假令一器一物と雖も之れを私に左右すべきにあらず折角の御所望ながら叶へ難し』と謝絕した、それから數日を經て副官は又もや二百名の兵を引具して艦長に面會し『予は再びカランザ將軍の希望を貴下に傳ふるの光榮を有す、大砲分與を謝絕せる貴下の申條一應尤もなり然れ共此方には死活に關する問題なれば是非共我等の望みを叶へられたし』と稍々不穩な態度を以て迫る、けれども艦長は平然『能はず』と簡單に言葉を切つて取合なかつたところ使者は遂に自暴半分に『若し愈々我等の請求を容れずとならば』

■兵力を以て頂戴

するが如何と海賊的の口吻を弄したので流石溫厚な艦長も嚇と怒り『何ッ力を以て頂戴する、生意氣者奴が若し然らばカランザ全軍押寄するとも我艦には一指を染さす事にあらず無禮者下れッ』と大喝した勢ひに使者は縮み上り這々の體で逃ぐるが如く立去つた其後艦長は用心の爲め萬一の變に備へてゐたが淺間の武威に怖れたか更に何の音沙汰もなかつた（ホノルヽ通信）

●山東鐵道沿線危險
千六百圓の强奪―二名慘殺

邦人石川縣產日野、村山の兩名は千六百圓を持參し鷄卵買收の爲め山東鐵道金家庄驛附近に赴きたるに所持金掠奪の目的を有せる支那人の爲めに慘殺せられたりとの報に接し濟南領事館よりは事件調査の爲め川口巡査急行せり（濟南發）

●豫備工兵大尉 鐵條網破壞器を發明す

愛媛縣周桑郡吉岡村大字上市當時松山市榎町豫備工兵大尉越智己之助氏(三八)は日露戰役後當時より電流鐵條網破壞方法につき研究を重ね其間幾多の辛酸を嘗め居りしが遂に今回

▲完全なる破壞器を發明し名付けて『越智式電流鐵條網破壞器』と稱し先頃農商務省特許局に特許出願中の處七日午前同局より特許登錄すべき旨の通牒に接したるより不日上京の由なるが同大尉は往訪の記者に對し同器發明に就て大要左の如く語り居たり『元來鐵條網は御承知の如く陣地の前方に之を設け敵が之を超越せんとするを阻止し逡巡しつゝある間に銃火を浴びせて敵を全滅せしむるを以て目的とするが故に最近の戰役にありては後者の爲め

▲損害多大にして既に好機に投じたる猛烈なる攻擊すら之が爲めには全く阻害されたる事實は普く世人の知る處なり而も之が排除を爲すに有効の機械なく徒に多大の犧牲を拂ふの外なく殊に高壓電流を通じたるものに對しては殆ど手の下し樣なく最大障碍の暴威を逞うせしむるの外なかりしが今回自分の發明したるものは實に世界的獨創の完全なる破壞器なりと信ず云々』而して右兵器は特許登錄濟の上は直に英、佛兩國へ賣込み實戰に役立たしむる筈なり（大阪支局）

●地中海にて擊沈されたか

大連山縣通辰馬商會所有船千壽丸(千千百噸)は目下米人フルマンボール氏のチャーターとなり去る十月初旬米國に廻航しフイラデルヒヤより石油を滿載し浦鹽へ回航の豫定なりしも巴奈馬運河閉塞のため紐育より大西洋を經て地中海に入りジブラルタルを距る約五百浬のアルゼリヤなるオラン港に入り去る十一月十六日同港を發しポートサイドに向ふ由入電ありし以來今尙ほ消息なし本來ならばオラン港よりポートサイド迄は多くも十日を出でず且同船は無線電信さへ裝置し居れるにオラン港出帆後二十三日を經たる今日まで何等の情報なきより見れば或は山下汽船靖國丸同樣の災禍に罹りたるにあらずやと海運業者間に噂され居れり（大連）

●列車顛覆

昨十一日午後四時十分南大門を發したる混合列車(貨車十四輛客車三輛)は密陽三浪津間にて顛覆せり乘客被害なし詳細後報す（釜山支局發）

●內地人を女房に 鮮人縊死す

京城本町三丁目六十三番地大工職白楠大熊淺吉(三二)といふ鮮人は兵庫縣美方郡溫泉村生れの內地人日高いとを內緣の妻として同棲中十一日午後六時頃所用を命じていとを外出させ其隙に乘じ自宅四疊半と三疊との間なる鴨居に五寸釘を打ち込み豆絞りの手拭を結び合せ針金を踏臺として縊死を遂げ居るを同十時半頃外出先より歸宅したるいとが發見し大に驚き早速此旨所轄本町署に屆出でたるより官醫師共に現場に出張檢視をなしたるに、全く覺悟の縊死と判明し死體は妻に引渡したり同人は大工棟梁大熊某の弟子にて內地にて大工職を習得し夫婦の間には一人の子迄ありし家庭は圓滑なりしも今夏來腸加答兒に罹り加療せしも到底快癒の見込なき爲めに六十餘圓の貯金も費消したる始末を苦にし斯くは自殺せし者也と

●殺された場所で慘殺す

平北朔州郡兩山面佳上洞金宗河の妻金氏(三三)は稀有の淫婦にて最初同洞李之學といふ妻ある男と姦通し其後更に同洞の朱奉植(三三)とも通じたるより男兩名の間に睨合ひを來し其結果朱奉植は金氏と共謀し明治四十二年舊十二月十五日夜李之學を誘ひ出して慘殺し其儘にて打過ぎ來りしが界隈にては李之學を殺害したるは朱奉植なりとの說喧傳されし爲め玆に之學の一家は深く同人を怨み之學の死後間もなく之學の實父李商璜(七十二)男之善(三三)三男之默(十二)四男之彥(三〇)亡之學の妻朴氏(二五)等は前記朱奉植を之學の殺害されたる場所に誘致して鐵又は石等にて慘殺したることも此程に至り所轄朔州警察署員の探知する所となり一家全部同署に引致されたり

●李堈公殿下歸鮮の途に就く

李堈公殿下十一日夜八時二十四分下關著山陽ホテルに休憩同夜發歸鮮の途につく（下關特電）

●石にて捕繩を切る

橫著者汽車より飛下る　平安南道江西郡甑山面新興洞無職朴命著(二六)は家宅侵入及び窃盜罪により十一月三十日瑞興支廳にて懲役六月に處せられ即日該判決確定し其の執行の爲め平壤監獄に押送の途中十二月一日午前一時京義線沙里院沈村兩驛間の車中にて捕繩にて前方に縛せられたる儘便所に入り看守巡査の隙間を窺ひ窃かに他囚徒と連結せる部分を解き車窓より飛降り附近の山中に逃走し石にて捕繩を切り其夜は馬洞北方の村落に一泊し翌日請溪驛迄引返したる所を巡査に逮捕され三日目に復々瑞興支廳の法廷に立ち囚徒逃走罪として懲役四箇月を宣告されしが橫著小僧不服を唱へ控訴せり（平壤）

●步兵中佐落馬して人事不省

姬路步兵三十九聯隊飯塚中佐十一日落馬人事不省に陷り遂に死去せり（大阪特電）

●行衛不明六名

船舶顛覆して溺死か　平安南道平原郡漢川面佛三里田建鎬外五名は本年陰七月田所有の漁船に乘じ平北定州郡身彌島附近に出漁中行衛不明となりたるが同人等の家族は多分風浪に遭ひ何れにか避難し居るものと思料しゐたるも餘りに歸宅の遲るゝため或は不慮の難に遭遇せるに非ざるかと諸方搜索の末九月二十五日愈々風雨の爲め定州郡沖合にて船舶顛覆し一同行衛不明となりし事判明親族田某より其筋に

●小切手千圓

京城本町二丁目釘本商店にては數日前同店小切手三枚金額九百二十三圓餘のもの及び其他領收證在中の手提鞄一箇紛失したる所右の鞄は十二日午前九時半頃明治町二丁目佛蘭西教會堂構內に遺棄しありたるを明治町の某洋服職工拾得して本町署に屆出でたり

●火災豫防注意

京城本町鍾路兩警察署にては過般警務部長より火災豫防に關する諭告を印刷したるものを各管內各戶に配布したり

●本町署の增築

京城本町署にては豫て廳舍狹隘の爲め增築中の所愈々此程に至り殆ど竣成を告げたり增築は五間に六間張りにて同舍にては午前は署員の學科午後は武術の練習場に充つべしといふ

△月谷里農場より

沼上文之丞

櫻の花の咲く頃東小門を拔けて新暇の元山街道を牛耳洞に遊ばれたお方、若しくは東大門外から電車一區安甘川を左に曲つて花見にお出でのお方は何方でも奇麗な北に並なる北漢山の麓に、東は小丘三角山に取り圍まれ三十餘町步

□悠然と一劃をなした果樹園がお目に留まつた事で御座いませう、而して諸東園場總きの小高い丘にアカシヤの若葉がくれに西洋造の日本家屋が三四軒チラホラ見ゆるのにお氣づきだつたでせう、其處こそ私共の一日の疲れを癒す安息所なのであります。柳の木に潤ひ綠の芽ぐむ頃から、園場の隅々で落葉焚く烟の立ち上る其時までは、私達のベストな盛りして、忙しく〳〵猶は足りない活動のシーズンでして、又忙しいながらに樂しい時であります。桃や栗や形よく仕立てられた樹の下で一挺の剪定鋏に來ぶかわ內にさ我れを忘れて忙しむのも其の時であります。桃の花も咲き、梨花も過ぎて漸く青葉樹るぼとなれば最うそろ〳〵愛らしい少女の頰の樣にほんのりさ色染めた『紅魁』は

□苹果園の青葉がくれに其のなつかしい姿を見せて呉れます。それから長い夏中アカシヤの葉裏を返して流れ込む涼風に開け放した背疊の上で園園の夕景色を眺めながら味はつた新鮮なる果實の風味や、とりどりの色彩は終日勞動に疲れ果てた私達を何の位慰めて呉れた事でせう。蟲に泣きしきつて居た蟲の音も絕え、園場に木々の葉はうら枯れて落葉し盡しました、園場には今幾顆となく烟が立ち上つて居ります、私共の窓には北漢山が冬枯れの木の間を透しては毅然と莊重な姿を現はしました、壯嚴なる山よ、お前が淸くも尊い白衣に包まれる時も最早遠くもあるまい。

△大正館 ○○○ 十二日より寫眞全部差換へ新劇下女の探偵、蝦蟇鹿千里眼、地下の黴菌、新派大活悲劇秘密世界、歐洲大戰亂畫報、寬永五人男小佛重三等にて舊劇には竹本男太夫の出語りあり

愉快に仕事をする法
腦神經の保護と攝養 精力增進の最良方法

□笑ふ門に福來る　世の中に幸福だとか不幸だとか唱へるのは强ち金錢の問題許でなく其人々の精神の狀態如何を指すのである鉅萬の富を積むだ人でも不愉快に日を送れば不幸の人で其日稼ぎの勞働者でも愉快に日を送る者は幸福である日々を愉快に事務を執り愉快に働くる事は即ち成功に達する一筋道で要するに不愉快と愉快が幸不幸の分岐點である

□不愉快の原因　何故人間は不愉快になるのか其人々の性質によつて色々變つて居るが健康な人は一時不愉快の現象が現れても直に打消す力がある毎日〳〵不愉快な氣分が續くのは慥に病的であつて十中の九迄は精神に故障が出來た者神經衰弱症に襲はれた人の外はない其原因を究めずして幾許仕事に勉強しやう幸福に進まうと思つても駄目な事である原因から先づ治さねばならぬ

□腦神經衰弱の惡徵候　愉快に仕事の出來ぬ人毎も鬱憂に日を送る人は必ず左の樣な微候がある第一に頭腦が重く紙でも貼付けた樣な心持がする眩暈や頭痛を感ずる記憶力が減り注意力が鈍くなり人中へ出て恐怖心を感ずる手紙を書いても脫字したり懶惰になる仕事に飽き易く眠くなつて牀床に這入ると不眠症で疲勞する食慾が進まず感情が高まり便通が惡く逆上していら〳〵する杯色々な徵候があつて捨て置くと段々重くなり終には極度に達すると自殺を行ふ人間もあるコンナ怖ろしい神經衰弱を怎うして治したらよいか

□玆に最良の腦病藥あり　腦病には外的療法として靜坐や深呼吸や電氣治療や種々の方法はあるが一面適當な服藥を懈つてはならぬ否服藥が第一の方法であつて外面的の療法は要するに其補助者に過ぎない今日本で最も有効な腦病神經衰弱症の特効藥は丹平商會發賣の健腦丸である健腦丸を常用すれば前言つた神經衰弱の惡徵候は漸次に消滅して逆上を引下げ便通を能くし腦充血や貧血を快治し怖る可き中風卒中を未發に豫防する偉効がある又記憶力を增進し頭腦を明斷にせんとする人は少量宛本劑を常用するがよい『島村醫學博士』も本劑の有効を證明せられてゐる藥價は三日分廿錢より五週分貳圓迄あつて丹平の『健腦丸』と言へ買に行けば日本全國は愚か海外到る處の藥店に販賣してゐる愉快に仕事をする祕訣其は即ち健腦丸の服用である本舖は大阪心齋橋二丁目丹平商會本店、支店は東京日本橋區室町である

理事任

長湍地方金融組合登記事項中理事阿賀忠一辭任抹消
右大正四年十二月八日登記
長湍郡々內面邑內里
京城地方法院開城支廳

建物賣却廣告

第壹號　仁川府海岸町貳丁目所在
亞鉛引浪板葺平家
此坪數約貳百七拾九坪
附屬造作及建具類並ニ挽椹共
引渡期日　十二月二十三日　壹棟

第貳號
亞鉛引浪板葺平家
此坪數約貳拾四坪
附屬造作共
引渡期日大正五年一月二十五日　壹棟

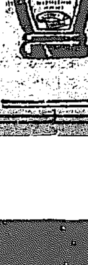
第參號
引渡期日　十二月二十三日 二階家建物　大正五年一月二十五日
瓦葺平家土藏
此坪數約四拾貳坪
附屬造作共　壹棟
附屬建物亞鉛浪板葺二階家　壹棟
此坪數約四坪

第四號
亞鉛引浪板葺平家
引渡期日大正五年一月二十五日　壹棟
此坪數約七拾七坪
附屬造作共
外ニ二階建坪三坪七合五勺

右ハ來ル十二月十五日午後壹時當會社ニ於テ入札賣却致候條希望ノ方ハ當會社事務所ニ就キ入札心得書及物件目錄並ニ賣物一覽ノ上入札セラルベシ

大正四年十二月八日
仁川海岸町二丁目
仁川水產株式會社

藥の苦味無くて强壯の効絕大



一朝の一杯元氣を增す
一夕の一杯精力を强む
フェロール

醫家適應症
●老衰肺病 ●肋膜神經
●消化不良 ●營養不良
●貧血諸症 ●產後病後
定價 ▲大瓶壹圓五拾錢 ▲小瓶八拾錢
●賣捌は各藥店にあり
創業元大阪道修町 藥劑師 小西久兵衛

酒精分無くて葡萄酒の味

代理店
京城南大門通 新井藥房
同大平通 キムラ藥舖
釜山天辨町 大黑藥舖
元山港 石田濟生堂
木浦 木下藥舖
安東縣市場通 井上藥舖

●窃盜犯の處罰　鳥取縣鳥取…（十三）圓五十錢…

●新町辻本文子(一三)は去る九日發病小兒科醫師診察の結果猩紅熱と診定の旨屆出でありたるを以て係官…

●山手町三共社に於て第八回園碁競技會を催す由會費金一圓なりと

●仁川の日曜說教　仁川山手町メソ…

天氣　くもり
曇り但小雪
▲十二月十三日（十二日午後六時發）

…の犯罪にて前科二犯を有す…が同人は十月二十四日午後八時頃京城新町山下某方家人不在中に乘じ表戸の錠前を捻ぢ切りて侵入し衣類十…二月九日京城地方法院に於て懲役三年の判決を受けたり

…五名は破船の底に取付き漂流中冷却せる潮水の爲め身體凍りて瀕死の狀…

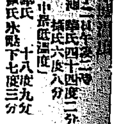
…江迎村生れ當時住所不定浦田庄作（三…）は本年十月二十一日より十一月十…

◎仁川に猩紅熱發生 仁川…重消毒を行ひたりと

◎仁川圍碁競技會 仁川敵…會にては來十二日正午より仁川…

…間禮拜説教夜間傳道説教を爲す由

豫報



京城測候所 十二日午後二時 華氏四十四度二分 攝氏六度八分 前日中最低温度 華氏十八度九分 攝氏氷點下七度三分

（つちのえう）

◎慶尚各地通信

▲乃城 榮川より乃城に至る三里廿餘町間榮川方面約二里は夙に改修を了し殘部は十一月中に橋梁まで全部竣工し交通頗る便▲牛市場改善 乃城市場は慶北道中有數の市場にして毎市生牛の八九百より千頭を下らず取引盛なるが目下憲兵分隊郡廳の斡旋により瓦斯燈を點じ夜中取引の便に供しつゝあり▲屠獸場新築 乃城邑の西南に約二百坪の構内を選り屠獸場を新築せり一箇月屠獸數五十頭を下らず衞生組合是が經營をなしつゝあり▲牛皮乾燥場新築 乃城は屠牛數多き爲め特に牛皮乾燥場の必要あり里長投資の下に屠獸場の東側に於て十日より新築に着手▲乃安道路 乃城より安東に通ずる三等線は安東乃城榮州地方に至る須要線なるを以て來年度早々工事に着手する筈

▲安東通信 醴門を起點として醴泉に通ずる道路は從來自動車を通ぜしむ可き方針にして延長五町餘五間幅の道路となすべく目下筌原三右衛門氏請負の下に一日より工事を急ぎつゝあるが遲くも廿日頃迄に全部（土工及び橋梁一箇所）竣工すべしと▲管理者金盃贈呈 安東學校組合には林田管理者就職以來鋭意組合の整理に著手すると共に今回學校の新築を見たるは其勞を多とすべきものとし林田管理者に金盃を贈呈せり▲土地臺帳縱覽 安東郡廳にて來る二十六日まで土地臺帳の縱覽を許可しあれば關係者は就て見る可しと▲公園地好評 紋島警察署長其他有志の熱心なる斡旋により新築小學校の東側に記念公園を設け遙拜殿を新築せしが眺望位置共に良好にして邑民皆其勞を感謝し居れり

▲榮川通信 醴泉より榮川に通ずる道路は鑑邸まで目下工事中に屬し鑑邸より榮川間は殆んど工事終了路面の締まり次第自動車も通じ得べし▲市場近況 郡廳前に新市場移轉以來市況頓に殷盛を極め取引の便宜良好にして可なり新穀出廻りあれど金融なほ逼迫氣配蕃年末を控へたる爲め底強なれど保合の姿なり

▲陝川通信 十一月上旬は前月來引續き金融緩漫にして何等の變動なかりしも中旬に入り製紙及び多物仕入の爲幾分活氣を呈し下旬に至り益旺盛を極めたり▲一般農況 米作は昨年よりも七八分方の減收なれども米價昨年の一倍半の現狀にて一般農民は未だ昨年程の苦況に陷らず▲市場近況 時節柄石油マッチ類は賣行、甚[illegible]且麻布の取引も亦盛大にして毎市五百圓内外の取引あり▲雜況 當地の如き僻地にありては何等の趣味も修養も出來ざる故日一日と退歩する傾向あればとて有志協同して會費を出し毎月二十餘種類の内外雜誌を購讀回覧中なり

◎對鮮麥粉輸出

從來滿洲産麥粉は露領以外の地方には絶對的輸出禁止されしが今回北京なる本邦公使より提議の結果愈々滿洲産麥粉を朝鮮に限り輸出するを得ることゝなりたる趣き去六日北京公使より鐵嶺領事宛通報ありしとの事なるが右は單に滿洲産麥粉の朝鮮輸出許可のみにして未だ實施期其他細目に關しては未だ何等の通牒なき由而して從來は浦鹽經由にて北滿物の多少朝鮮輸出を見たりしも開戰以來其跡を絶ち現に米粉の一手跋扈するのみなりしといふが今後は如何なる進展を見るべきか注目に値すべし（奉天）

◎兩金鑛成績

遂安は增加雲山は減少

朝鮮産金額の約五割を出す平北雲山黄海遂安兩金鑛に於ける本年の産金高を聞くに雲山は一月より十一月に至る累計千二百二十九貫六十匁にして之れを昨年の同期に比すれば二萬餘貫の減少を告げ居れりこれ今夏水害等を受けし爲めなるべし而して遂安金鑛は一月以來十一月迄の分二百四十七貫八百餘匁に上り之れを昨年に比すれば三十餘貫を增加せるが其の理由は楠亭金鑛の新發見採掘に因由し明年に至らば一層の增加を見るならん尚ほ兩鑛産金高は其數量に於て一見大差ある如くなれど雲山は完備せる精煉所を設置し居らざる爲め其の鮮銀に送り來る地金は品質劣るも遂安は精煉設備完整せるに付其の産金の品位大に優り居り結局實際の金額に著しき差隔はなき由

◎兵營道路測量

大邱兵營設置の確定さるゝや市街との道路連絡は如何なる地點になるやは市民の齊しく知らんとしつゝある所なるが慶北道廳にては已に是が豫定設計を了し愈々十一日より谷道技手擔任の下に十二間道路を起點として兵營に通ずる大道路の測量を開始せしが十二間道路より兵營敷地方面を見るときは稍々東南に位すれば是が道路も十二間道路と一直線なる能はざるは勿論なれど何れの地點を縫うて開通さる可きかは實測後ならでは確定さる可きに非ざれど道廳の方針としては大體内定する所ありと因みに測量終了は來年一月下旬頃なる可しと

◎江景檢米狀況

忠淸南道江景米穀檢査所は内地に於て多年米穀檢査の經驗に富める庭瀨博章氏來任と共に十一月二十五日を以て檢査施行を開始せる次第なるが今回所長庭瀨氏の談を聞くに同檢査所開始以來未だ日尚ほ淺く從て充分其効果を語る能はざるも短時日の淺き經驗を以て觀るも檢査開始以來當業者は一齊に精選乾燥夾雜物の除去に努め專ら品質の向上を計り檢査に合格するも提出品の下格たるに滿せず尠くも上格以上に合格せしめんとの商業者の意氣は忽ち其事實に現れ十一月二十五日檢査開始以後十二月八日迄十四日間の統計に見るも總檢査數量一萬七千百九十四叺の内優等三百八十七叺上格一萬三千百十四叺下格三千六百六十六叺不合格二十七叺と云ふ好成績を示し居れりと

◎鴨綠江結氷期

鴨綠江は既に兩岸結氷し中流は氷塊連續流下しつゝあるが昨今は恰も潮流最低時期なるも寒冷劇甚ならざるため未だ全部凍結するに至らざるが先づ本年の結氷は遲くも二十日前後なるべしと豫想されつゝあり

◎東拓小作米收納

東拓にては目下所員を各地に派遣して本年度の小作料を徴收せしめつゝ有るが同所の收納法は南鮮地方に於ける收納法と同じく打租即ち收穫の折半にて稻の黄熟するや先づ地方小作人を監督する農監及び出張所員各一名は小作人と共に稻田を實見して收穫高を想定し相互協定の上之れを折半する事となり居れるが一般朝鮮人は未だ斯くの如き想定には不熟練の爲め穗の上へ折半を危ぶみ苦情尠からざる模樣なるも本年は昨年の經驗により稍々了解し得たるを以て事務の運用上多少進捗を期し得る點有るが如きも未だ全く彼等の危惧と不安の念を一掃するに至らず小作料收納に伴つて些少の利害問題より繁劇なる時日を徒らに空費するは甚だ遺憾なる事なりと云々と一所員は語れり

◎安東縣雜信

國澤副總裁通過 東上中なりし滿鐵副總裁國澤工學博士は十一日夜通過五龍背へ赴き同地温泉場に一泊の上十二日午前歸連の途に就く▲鴨綠製材工場 鴨綠江製材公司第二工場は過般來新築工事中なるが來る十五日上棟式を行ひ年末迄には全部落成の筈▲井上支店長 正金銀行井上大連支店長は歸國の途次十一日朝當地通過南行せり▲初選議員出奉 過般執行せる國民初選議員當選者は複選の爲十日夜奉天へ出發▲保衛團檢閲 東邊道尹は安東縣管内に於ける各郷保衛團を召集し來る十五日元寳山麓に於て檢閲を執行す可し▲脱營兵縊死 既報の如く九日夜脱營せる安東守備隊上等兵山口龜太郎は營舍の後方なる山中に縊死を遂げ居たるを九日發見さる▲貯金銀行移轉 市場通七丁目に新築中なりし安東貯金銀行は昨今殆んど全部竣工せるを以て來る二十日より新築家屋に於て一般行務を取扱ふ可し

年末の贈答品には 實用向きの ちゝぶ銘仙 珍柄豊富 京城本町二丁目 ちゝぶや 電話八九〇番

◎忠南朝鮮語研究會

忠淸南道廳に於ける職員の鮮語研究に就ては併合以來度々之を實行せられしも其範圍小局部にして豫期の成績を擧ぐるに至らざりしが小原新長官の赴任するや直ちに該研究方を各廳に督勵したると同時に道に於いても左の規約を制定し名實相伴ふ方法の組織をなしたり然るに時恰も共進會御大禮に遭遇し實施に至らざりしが漸く機熟し本月より實行することゝなり始業式を去る三日擧行長官並に第一部長より鮮語研究の必要なる點を縷々懇々訓諭する所あり會員は道廳員及び道所屬員官公署職員にして總人員八十七名上長官より下級吏員に至るまで熱心聽講をなし講師は農業學校普通學校の鮮人教員に委囑し現在會員多數なるを以て一二の兩組に分ち教材は從來の成績に鑑み教科書に依らず研究會に編纂せらるゝ最新教練法に則りたる印刷物に依れり、教授期間は一年の豫定にして毎週火金の兩日午後四時二十分より二時間とし病氣出張等の爲該講することを能はざる會員に對しては別に毎週月曜日に講習せしめ該研究の貫徹を期することゝなり猶ほ管内各郡に於ても既設のものは之を擴張し未設のものは同會則に依り鮮語研究會を開始する事となれり

▲鮮語研究會々則

第一條 本會は鮮語研究會と稱す

第二條 本會は鮮文及び鮮語を修得するを以て目的とす

第三條 本會は忠淸南道廳在勤内地人職員を以て之を組織す道廳職員以外の者と雖も官公署職員は會長の承認を得て加入することを得

第一項の職員は總て本會に加入する義務あるものとす但し會員に於て鮮語に熟達したるものは此限にあらず

第四條 本會に會長を置く會長には第一部長を推戴す

第五條 本會に幹部一名會計一名を置く幹部及會計は會長之を囑託す

第六條 本會の教師は會長に於て適當と認むる者に就き之を囑託す

第七條 教授の日時場所は會長之を定む

第八條 本會々員は會費として毎月金十錢宛納むる義務あるものとす

パン、干菓子、洋菓子など取揃へ歳暮の御用待つは木村屋 京城明治町 電話二八七〇番

金がほしいか ほしければ今すぐに 株式相場を研究せよ

今年四月より本社發行の株式相場講義録に、今年は株が高くなるから株を買へ、と本社々長が熱叫せる神の如き豫言は的中して今や東西の株式市場は暴騰又暴騰、爲めに東京糞へ繰り返つた大騷動、東京市場は十二月一日より三日間取引を休止する樣な大騷ぎを演出したり

本會々員の大利益

此の如き大暴騰を來せる事なれば、已に本會に入會して株式賣買をなしつゝある人の利益は其幾千の大利に達せしやを知るべからず、本社に報告を送り來りし金高のみにても實に九萬六千餘圓に及ぶ、嗟ふを止めよ、株を買つて其株が五十圓高、百圓高となつた今日、其れでも儲からぬ筈ありや、それをしも嗟ふ人は愚人也、分らぬ人は大馬鹿也

相場はこれから也

已に五十圓高、七十圓高と暴騰しつゝある相場界は今後益々大狂熱を演出すべし、五十圓、七十圓の資本金が忽ちにして何萬圓何十萬圓となる成金相場はこれから也、相場は平和の戰爭なり、負ても命に別條なき大娯樂也、男のなすべき快事業なり、十年目毎に一回廻り來る大相場は今なり金が欲しい人は今直に相場界に出動せよ、今が千載一遇の絶好機會也

相場とはこんなもの

成金會社の株券を三十圓なり五十圓なりの規定の證據金を出して其株十株を買ふ約束して置き、其株が上つた時に他に賣り渡して高くなつた丈を儲ける方法也、それで二十圓高となれば二百圓の利益となる、されば奇術にあらず、賭博にあらず、立派な商業也、資本金千二百萬圓の株式取引所が政府の認可を受けて公然と營業しつゝある商業也、かくいふも、未だ經驗の人々は分らざるべし、分らねば本社發行の株式相場講義録を讀め

講義録とはどんなもの

全七冊、六百餘頁、どんな素人にも一度讀めば相場のやり方を必勝の秘訣を覺えられる、某區役所の小使君も本社の講義録を讀んで、今では相場で儲けてゐる、分らぬ所は質問も出來る、今何株を買へば儲かるかと云ふ相談にも應ずる、會費はタダ五圓也入會せんとするものは半ガキにて申越次第會則進呈、會員證を請求するのが面倒なら金五圓を本社へ送金せよ講義録全七冊と會員證と規則書等取揃へ直に發送すべしグヅグヅして此好機を逸する事なかれ

東京神田表神保町十番地 富強世界社 振替東京二八一九七番 電話本局四六八五番

大正五年 國民日記

日記界の權威「國民日記」の特色

需要供給の原則によつて年々日記類の刊行さるるものも少くはないが大方前年來の體裁やら編輯法やらを套襲して唯月日に關係した部分のみを改めるに過ぎないと言ふやうなものが多い。これでは第一一年三百六十五日毎日々々の用に供さなければならない坐右の友としては甚だ不適當である。すぐ飽きられて了ふのは當然である。外形から言つても内容から言つても常に清新と充實とを心掛けて趣味の豊富と實用有益の點に於て我々が活動裡の伴侶たるに適切ならしめねばならぬ。即ち製本及び紙質を吟味して耐久的たらしむべき事、意匠を凝らして趣味あらしむべき事、内容を豊富且實用的ならしめて日常知識の顧問たらしむべき事等ざつと擧げても此等の資格は十分具備してゐなければならぬ。こゝに江湖に推擧せんとする我が『國民日記』は斯かる日記界の缺陷を補ひ我が國民日常必須の要求に應ぜんとして生れたもので、以上の諸點は悉く注意に注意を加へて毫も遺漏なきを期したのである。先づ上等のクロース仕立ての表紙の意匠に眼を見張る間も無く開卷直ちに一枚の吸取紙が手に觸れる。これは言ふまでも無く此日記の周到なる用意の那邊にまで行渡つて居るかを證明して餘りあるものである。それから月の初めには廣業、清方、蕉園、百穗、耕花、輝方等十二畫伯のそれ〴〵特色ある名畫が挿入してあつて飽かず打眺められる。其裏面には月々の季節と式日、行事、節物を面白く掲げてある。さて中に進むと一頁を一日に配して其三分の二を記録の爲に殘し下方三分の一には古今東西百般の重要知識を網羅して一は日々の誦讀に便じ一は又必要に際して咄嗟の檢索の爲に資してある。尚其欄外には舊暦までも書き添へてあるが之れを掲載する爲には人知れぬ非常の苦心を經たので窃かに此日記の最大特色とさへ編纂者には考へられて居るといふ位である。其他在來の日記類に存するものは一として完備してゐないものは無いが、附録に載せた五十に近い重要事項の内婚禮の儀式、育兒の栞、家庭救急療法、交際の心得、料理法、衣服の事、花卉園藝の事等をも加へた如きは如何に此日記が日本國民の家庭と言ふ事に眼目を置いたかと言ふ事が證明される。其他重要諸規則、俳句歳事記、年齡早見表、萬年算月表等社會百般の事何一つとして忘れてゐるものは無いと言つて可い。日記界の權威、日本國民の代表的日記と言つても僭越ではない事を信じて江湖に推薦する所以である。

定價金四拾五錢 郵税金八錢 ▲郵税本社負擔▼

取次所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

東京新海苔出來 本年新海苔は品質良好殊に早出…弊店は特に勉強可仕候間何卒御用命奉願候少數御注文は小包郵便にて…御用の節は御名前御注意願入候 東京市京橋區南傳馬町二丁目 山形屋 窪田商店

開店御披露 各位益々御淸榮奉賀候陳者今般當家儀左記の處に於て蕎麥一流かしわすき燒及御料理仕出し十二月十三日より開店仕り候間何卒一度御光來の上御風味被下度最上不背割烹職料理に從事致し居り候間勉強御手輕を主とし御顧客の御滿足を以て御引立の程願上候 敬白 京城旭町三丁目（百三十銀行横丁） 大錦

亡父恒葬儀の節は御多忙中御會葬被成下御厚情の段忝く奉深謝候混雜中尊名伺洩も可有之と存候に付乍畧儀以紙上御禮申上候 大正四年十二月十二日 男 菅順道

故中齋儀去る十一月廿七日名古屋市に於て病死致し葬儀執行仕候就ては來る十六日三週忌日に相當致し候に付午後一時仲町妙心寺に於て佛事相營み候間此段生前辱知諸君に謹告仕候 十二月十一日 長男 渡邊康次郎 親 松永文次郎 山浦勝馬 戚 町田文次郎

葬具萬般整頓罷在…深き者專ら業に當り…儀式にも決して差間無之候 京城大和町一丁目 大和葬儀社 電話二四…

旭町二丁目（名古屋城…） 電一五六七番 株式會社京城葬儀社 本社は支店出張所等無之御用の節は直接御用命… 二川長事 中河原… 靈柩馬車の設備有之候 井上芳太… 電話…五十七番

越後大評定

第七十一席　早川貞水口演

仙千代丸の對面

そこで堅めの大將山田大膳、安藤主計、大村權左衞門の案内にて林泉寺へ御泊りの兩御上使へ御伺ひを致し、御目通りの儀を願ひまするを直ぐに御會ひになりましたから一同平身低頭いたし　大『此度大僧正、並に大久保御老臆には、遠路のところ御上使の御役目御苦勞に存じ奉る、先觸等のこなきため、御出迎ひも仕らず御無禮の段、御宥免願ひ奉る　天『是はく山田大膳、安藤主計の兩人なるか、主家の御ためとは申しながら、當手の堅め御苦勞に存ずる　大『ハア

恐れ入り奉る、御兩所にも御機嫌宜しく、安堵仕りまして御坐る、是より兩名にて城中まで御案内仕り、福井城へ御乘込みの儀願ひ奉る　天『アヽ左樣あるか、然らば吾々兩名、何の咎めもなく、途中安全に取計らひくれるか　大『恐れ入つたる儀、何の仔細も御坐らぬ、御安心あつて御通を』そこで山田、安藤の兩名が案内して福井城さして入らつしやる、見ると本城には、總白無紋の御旗、銀剣半月の御馬印、三葉葵の御定紋の御旗空中に飜り、各持場くを堅めたる有樣、實に眼を驚かす許り、大僧正は戰場萬馬の間を往來なしたる方、彦左衞門は家康公百三十餘度の御戰へ御供一度も缺いたことがないと云ふ御方で御坐いますから　彦『御僧、勇ましいではござらぬか　天『イヤ、どうも立派なものぢや、總て久しき總白無紋の御旗、之を見るのも珍しい

ので御坐るな　彦『左樣く、既に此御旗の手四十四旒、一度に倒れたる小牧山の御戰、森武藏守長可、御本陣へ乘込みし時なども危いことで、兎くも御當家、斯くまで御難戰あらせられたと思へば、何となく彼の旗が偲ばれます　天『イヤ左樣く、金五本骨、堅九尺、横五尺の御馬印、幾度捲いたか知れぬな　彦『左樣でござる　天『其後に至つて天下太平、併しイザと云へばいまだ此の如き勇ましき有樣　天『流石は越前家、武備堅固、殊に鈴木の采配受くる其進退、どうも届いたもので御坐る　彦『左樣

で御坐る』と、小聲でお話しゝながら大手を御進みになる、頓て御玄關へ來ると、敷臺まで仙千代丸樣御出迎ひあそばし、此處で御兩名御會釋あり、御案内に從ひ、城中廣間へ御通りになつた時に、御上使であるから正面に御直りになり、仙千代丸樣は老臣附添ひ、母君勝姫樣と共に、其所へ御出であると、仙千代丸樣愛らしき御聲にて、是はく天海大僧正、大久保彦左衞門の御兩所、御上使の御役大儀に存ずる、御上意の趣、承りたく存じ候　彦『この御容子を見奉り、思はず御落涙、此君ぎ奉る御方なれど、德川三代の將軍と御順當に任れば、父君秀康公御氣性、活達に過ぎたるため、天下を治むるの器にあらざるを以て、僧正と共に御意見申上げ御廢嫡を願ひ、越前福井城にて七十五萬石、それも今また半知御取上げ』と感慨無限、僧正とても亦御同樣にて兩眼を閉ぢ給ひ　天『是はく仙千代殿、勝姫殿にも御機嫌宜う、上意の趣、申渡す』と當り前の御上使のやうに、御權威を以て御つしやられ、宛然平常の御話しなさるやうに、最と叮寧で御坐います。

十二月十四日九星　舊十一月八日己卯　木命　七赤　西平　赤口

演藝案内

大正館　櫻井町　電話八七三番　十二月十二日より寫眞全部差換　○東亞西社會劇『地下の鐵箱』全二卷　○新派大活悲劇『秘密世界』全二卷　○舊演劇『寛永五人男小佛重三』全三卷

黄金館　黄金町四丁目　電話二六三七　天然色活動寫眞株式會社京城一手代理店　十二月十一日より特別寫眞提供　○探偵大活劇『三日間の死』全二卷　太閤秀吉と石川五右衞門全六十卷

大正館の三大寫眞　●舊劇　寛永五人男名優松之助出演　小佛重三　●新派劇　新派俳優の花形藤澤淺次郎出演　秘密世界　●泰西奇談　地下の鐵箱

有樂館　本町一丁目　電話二六六

御成座　御成町　電話一九一　▲新派定設第八十七回目替狂言　二人辯護士　全冊　二番目　やかすむこ　三場

壽座　本町　電話五七八　○日本活動寫眞株式會社專屬

浪花館　明治町　電話二六〇番

京城座　電話一〇五〇

キナピリン

●キナピリンは現代に於ける最新薬にして最も進歩せる解熱藥なりと大方の歡迎を受けつゝあり

●キナピリンは●感冒●熱病●頭痛●インフルエンザ●リヨウマチス●間歇熱（マラリヤ）等に大効あり

定價　二包入拾錢　五包入廿錢　八包入三十錢　十五包入五十錢　三十二包入壹圓

本舗　大阪堂島　高橋盛大堂　發賣　同心齋橋　高橋盛大堂分店

最新高等風藥

滋腎　田春丸

陰萎病並に神經衰弱に大効あり

岸田吟香

瀨戸皮膚外科醫院

旭町二丁目（舊三丁目）　醫學士　瀨戸潔　（電話二四九八番）　診察夜九時まで

Mゴム　數ある中でもM印は特に撰ばれて最優良品と御賞讃を願ひます　三田土ゴム製造合名會社製造　發賣元　飯田商店

京城學校組合告示第三四號　本組合事務所ハ京城府本町三丁目…　京城學校組合

○肝油ドロップス

滋養強壯料

專賣特許　○肝油ドロップス　○複方肝油ドロップス　河合龜太郎氏創製

▼甚しき臭味を忍びて肝油を飲食すべき時代は去れり▲

肝油ドロップス　Cod Liver Oil-Drops

肝油が一般の虛弱者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として、內科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、其效を奏するは、既に定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに似て、要ず補良び可溶性の食養物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一定宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて纖密、美味無臭にして齒みて容易に食用し得べき、肝油ドロップスを創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、臭味の迅速なる等の缺點なく、絕て木質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると共に、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり

（現品容器圖）

ミツワ石鹸　ミツワ家庭藥

東京市日本橋區馬喰町四丁目　丸見屋商店　振替東京七一〇番　電話特長浪花四四〇五番・四八番・四九番

株式會社百三十銀行京城支店

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎

京城本町壹丁目　電話五八番　振替貯金京城一九四番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候　爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

しもやけ根切薬

手足のかゆみいたみがよくなをる

本舗　東京日本橋上槇町　安川晃榮堂　各藥店に取次あり

ヒゲタ醤油

銚子港　田中玄蕃釀造

代理店　京城明治町一丁目　山邑京城支店　電話八四九番

多々見醫院

內科　小兒科　入院隨意　京城日出小學校前　院主　醫學得業士　多々見五郎　電話九四〇番

尼崎汽船仁川出帆

大阪商船仁川出帆

朝鮮郵船

日本郵船仁川出帆

阿波共同汽船仁川出帆

汽船釜山出帆廣告

汽車時間表

……る委任狀五通を見せり』を逮捕し得べしと報じ又ロイテル上……命黨の活動を抑止する……し斯の如くならされには日本は共義務……ニユースの所論斯の如くなれ共日本の立場を充分了解せるものは彼等……題の爲め暴露されたる袁政府の詐欺的手段に憤激し上海附近の革命的分……にして其事實のものたるを立證し得べきか恐らくは斯の如き文書は支那……

京城日報

十三日朝刊 (第二千九百七十一號)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ケ月金六拾錢 郵送に限り前金 郵税共三ケ月壹圓九拾錢 六ケ月三圓七拾錢 ▲郵券代用二割増

廣告料 ▲五號活字一行に付金拾錢 ▲雜報欄内一行金壹圓貳拾錢 ▲記事欄指定一行金壹圓三拾錢 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲二號活字の一行は五號活字同樣

發行兼編輯人 秋田直郎 印刷人 坪口政太郎 發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

電話 編輯局 三四番 營業部 二二六・一二二番 振替貯金口座京城三〇〇番

財界時言(十二日)

米國の對支經濟發展

○米國の銀行にして紐育に本店を有するナショナルシチー銀行が最近に於て、同じく米國の銀行にして紐育に本店を有し、海外銀行として從來東洋方面に活動しつゝありしインターナショナル銀行を買收するに至れりとは外電の報ずる事實なり。

○吾人は此報道に接して、米國の放資政策が東洋殊に支那方面に向つて如何ぬ具體的に現示せられつゝあるかを當てこすられたるの感なくんばあらず。抑も米國の支那に對する經濟政策は、單に通商關係のみに止まらず、夙に資本投下の方法を以て自國の利權を扶殖せんことを目的とし、近來は頗ぶる同國の資本的活動の自醒ましきものあり。インターナショナル銀行の如きは、未だ之を英國の香港上海銀行、獨逸の獨亞銀行、露國の露亞銀行等の如く根底を据ゆる事深からざるも、其の海外銀行としての努力は決して吾人の侮る可らざるものあり

○歐洲の戰亂は、交戰國にとりては財政經濟上の大打擊なれども、米國にとりては非常なる勿怪の幸にして軍需品食料品等の供給によりて、米國の貿易が未曾有の盛況を呈し、從つて同國の財界は太西洋の彼岸が慘憺たる修羅場たるに引代へ、駘蕩たる春風を樂しむの境遇にあり。斯くの如くして米國の財界は資本充實、活氣旺溢の狀にあるが故に、米國として資本放下の策を考へ、之れを實行するには、今日は實に千載の一遇と謂ふべき也

○蓋し英と謂ひ、獨と謂ひ、佛と云ひ、露と云ひ、白と云ふが如き、東洋殊に支那に對し從來資本關係により利權を有したりしものは、目今の大戰亂の爲めに支那にかける積極的經濟政策を執る事は勿論、現在の利權をすら保持するに何等の顧慮を要せずと云ふことなし。此間に在りて充實したる資本を擁せる米國が、外交の後援の下に資本的活動を一層支那に試みんとするは固より當然の事にして、只だ蛤蚌の爭が漁夫の利となるの憾なき能はざる也

○米國の甲の銀行が乙の銀行を買收したりとて、吾人は之を重大事となすに非ず、但だ支那に關係ある一の銀行が別個の經營下に於て今後更に益々活動し發展せんとするが故に、吾人は頗る之を重大にせんとする也

新支那漫言 九

布施知足

支那政府が顧問として有力なる日本人の傭聘を强ひんとするも亦我邦一部の希望なるが如く近時大隈内閣が試みたる對支要求中にも此の一項ありきと傳ふ忌憚なく謂はゞ吾等は此の如き要求が國際談判の一條を成すものとして果して適當なりや否やに惑ふものなりと雖も此は今强て論せざるべし吾等の看過すべからざるは世人が他國に聘せらるゝ顧問に對する觀念の著るしく誤れる點にあり吾等は新聞紙の傳ふる所に據りて世人が有賀博士に對する感情の一時甚だ險惡なりしを知る而して之れ博士が人に語りて余は支那政府の顧問なり余が努力は專ら支那の爲に獻替するに存せざるべからずと云へるに基づくと云ふ吾等は之に據りて世人が是等顧問に對して期待する所の如何なるものなるかを解し得たるが如く感じ之に對して異論なき能はず吾等は顧問と云ふ位地に對する正當の理解として全然有賀博士の此言に贊す而して苟も出でゝ他邦に顧問たる者の期する所は當に此の如くなるべきを思はざるを得ざるなり吾等は顧問たる者の覺悟は必らずや心を盡し誠を盡して其雇はれたる邦の爲に盡し之を導いて正しき道を行かしむるにあるを信ず其自國の爲にするは唯其の公明なる行動によりて其職を奉ずる政府と國民との信頼を博し延いて自國民の信用を高むるにあり斷じて自國の機關として其職に任るべからざるなり吾等は邦人が此點に於て明白なる理解を有せん事を望む聞く故伊藤公が韓國に統監たるや常に邦人にして顧問たる者を誡めて諸君は唯當に韓國の利益の爲に圖るべし若夫れ日本の利益を圖るは則ち不肖の在るあると云はれたりと云ふ吾等は伊公の此言に服せざるを得ず顧つて世人が邦人の出でゝ支那に顧問たる者に期待する所の往々之と逆ものあり苟も支那の爲に圖れば則ち呼んで支那探と爲し公人たる袁氏の爲に周旋すれば又呼んで袁探と爲して憚らざるを見て甚だ之を悲しむ吾等は斯の如き偏狹なる愛國心の發露を喜ぶ事能はず若夫れ顧問を以て勢力伸張の具とし顧問の在る所則ち之を勢力範圍に置んとするが如きは曖昧謂ふを待たざるなり勢力範圍說の打破すべきは既に言へり吾等は又强て色を厲しうして顧問を支那に貢らんとする政府の計畫に贊同する能はず更に顧問を目して自國の機關となさんとする世上の見解に同意する能はざるなり

米國海軍充實 當然の計畫のみ

既電の如く今回米國大統領ウヰルソン氏の發したる教書中に宣明せる海軍充實案の大要は一九二一年一月一日迄に戰艦十隻、巡洋戰艦六隻、輕巡洋艦十隻、驅逐艦五十隻、航洋潜水艇十五隻、沿岸防禦潜水艇八十五隻、砲艦四隻、救兵船一隻、給油船二隻、病院船一隻外に航空隊費千二百萬圓以上總費額十億四百九十六萬餘圓に上るべしと一見計畫の大規模なるに驚く者多からんと雖も詳細に之れを見れば實は既定計畫の年來の澁滯を補充せんとするものに外ならず即ち一九〇三年の參謀會議に於ける戰艦四十八隻(其内第一戰列戰艦二十四隻)を建造する案の實現を企てたる次第なり

▲戰艦二十四隻 現時同國のド級艦はミシガン級(准ド級艦)を加へ計畫中のものも全部にて十九隻に達すべしと雖も一九二一年に至ればミシガン、サウス、カロリナ、ノース、ダコダ、チラウエア、フロリダの五艦の艦齡の第一期を送りて第二戰列に去るを以て殘るもの十四隻となり是れ今次計畫の十隻を加へて二十四隻の新ド級艦を第一戰列に配せんと欲するものにて今更擴張の鋭に驚くは事情を知らざる者なれども該計畫の裡に擴張計畫の一端を現はせるの大事實あるは注意せざるべからず

▲潜める擴張案 即ち從前の戰艦二十四隻第一戰隊案に加ふるに●新に巡洋戰艦を以てせるの一事は今次●歐洲戰爭に於けるバツトル、クルーザーの絶對的顯著なる活動を直觀し兩端海に臨む米國として特に其必要を自覺したる結果にして今度は六隻に止めたれども他日再び此艦種の擴張を豫定せることと察するに難からず況んや米國が日本獨特の計畫たる八四艦隊の編成を模倣し然かも進んで此艦隊三隊を備へんとするに至つては單に充實案の進捗以外に更に世人の注目を要するものあるを知るべし

議會覗き

一記者

豫算總會の初日鈴木梅四郎君の質問に對して尾崎法相が喧嘩腰になつて『有るなら出して見ろ』何處にあるか、元田君にしても關君にしても眞似はすまい』とやり付けたので在野黨は業を煮やして議場は大騷ぎ、議長々々とやり出すと、島田議長狼狽して『諸君の發言は何にも聞えません〳〵』は大出來▲谷省參政官のお初の政府委員振りは今期議會の呼物であるが九日の衆議院で午後九時を過ぎても議論が盡きず滿場惰氣滿々たる時一議員が議長參政官は居眠りをして居る』とやつたので議場はドツド大笑ひ議會始まつて以來の珍妙な注意▲國民黨の鬪士高木益太郎君の演說は却々うまい一例すると『時代の大勢から割出せば』と云ふ時チヨツキと出して『宜しく民力の休養を計り』とやる時はバラリと出して『政府は果して出來るか』と怒鳴る時グツと出すので之れを高木君のチヤンケン演說と云ふ相な▲森田小六郎君が記念の爲だと云つて芳名簿を持ち回つて議員連の署名を求めて歩いてゐると口の惡い一議員が、此の前大橋頼模君が其をやつて直き死んだと嚇されたので小六郎君吃驚して早速中止したので案外正直な男だは人が惡い▲毎年衆議院で歳費を差し押へらるゝ連中は敢て珍らしくないが今年なども貴族院でも其の連中がザツト十八人位あつた相なには驚く▲九日議會のパアで島田議長がポツリ〳〵とやつて居ると政友會の猛者松田源治君がヒヨツクリやつて來て『今日は島田さんの云ふ事を聞かず眞に御無禮しました』と挨拶すると島田君ニコ〳〵顏を妙にしがめながら『ナニ面白いサー〳〵』は聊か苦し氣に見えたと野黨連は何處迄も惡口▲其れに反して同志會總務の安達謙藏君は松田君に對して『本日は大にやりましたネーアハ……』は相も變らず好い處だとパアでの評判(九日夜)

朝鮮葉煙草政策私論(四)

廣江澤次郎

●●煙草仲買人制設立の急務●●

於酒公賣と支那葉

未だ支那の新葉は出廻りなき故詳細知るに由なきも、例の菸酒公賣局(煙草酒公賣局)より苛斂誅求され居る事とて、新葉の相場の昂騰は或は十一、二割の古葉の値段位ならむかと思ふ、元來支那政府は稅源の涵養とか貿易の消長等は一向念頭になく『ドシ〳〵』徴稅するを以て本能となせり。支那の製茶貿易の衰退等は好適例ならずや、心すべき事にこそ。兎に角菸酒公賣に呪はれたる支那葉は今後苦境に立つべき必せり。長江筋以外南清に於ける江省、福建省、福州、廣東省南雄等名有るも逆か調査を他日に讓り寧ろ吾人は此機を逸せず朝鮮葉が陣容を整へ一擧に輸入防遏のみならず、更に製造煙草と相策應して伸展策を講じ、貿易品としての價値を増大せしむべきの急務を感ず。何ぞ朝鮮にのみ動ともすれば『生産過剩』の謬見を醸成され居るの必要あらむや。○世界は廣く、販路は無限なり。○宜なる哉總督府と三井物産の朝鮮産葉倫敦輸出の試み。吾人は朝鮮葉煙草の前途有望なるを慶幸とせずんばあるべからず。○作併或に於ける吾人は從來の見を以て兎角悲觀說を排へ●明●煙●な●たる朝鮮産葉に發芽を投せん●とする一派の蒙を啓き醒かざる可ら●ず。成程朝鮮は空氣乾燥に過ぎ煙草耕作には不適當の感ありて實狀に通曉せざる者には悲觀も一應尤もながら乙ふ煙草産地の實際を見よ、而して其主なる産地が山間に在て一條の河を挾み、其河水蒸發し、四邊の山と樹木とにより適當に調和し居るを知れ。吾人は神の攝理と造化の妙に驚かざるを得ず。是れ肥料を施さず手入れを加へざる殆んど野生の儘の在來種すら比較的品質優良にして孰れの原料に使用するも適應する所以なり如斯現在既に有望なるもの將來總督府の熱誠なる指導の下に改良善化の實を擧げんか其名聲東洋に冠たるを期する亦難きに非ずと信す。

日本種の好績

次に日本種に就て云はんか、成程朝鮮産は秋煙草に屬し、遲れ居るには相違なきも其成熟期內地の百日に對し朝鮮は八十日にて、自然に成熟する事を知らざる可らず。悲觀論者の云ふが如く、內地式に早煙草を作らむか、斯は雨季關係より不可能に屬し、亦其必要もなし、朝鮮産は秋作なれども、香氣淳良、味ひ緩和、火附き良好なる故、口付原料として非常に有望なり。論より證據、上級品として立派に成功し居る吾廣江商會の○○○しらぎは共進會の節辱なくも閑院宮殿下より御買上の光榮に浴し又名譽金牌を受賞されしに非ずや。尚他の例を擧げんか神代、金剛等の廿本入十錢級の新らしき試みも日尚淺しとは云へ著々奏功し居るに非ずや。要するに問題は、耕作者の熟練の如何と、資金の係のみ。何ぞ朝鮮の土壤と氣候を呪ふの必要あらむや。

數字的立證

尚ほ日本種の有利有望を數字的に立證せんか。麥を刈り取つたる跡に移植する設備の者は聯千本位とすべし而て肥料を充分に施して成熟したる下た葉より順次取れば、一反步六十貫を採る事敢て困難ならず。今之れが收支を見んか

一金十圓也 聯千本葉込み匁八錢替として六十貫の代金

支出內譯

十圓 男女小兒平均人夫二十人宛として五十人の賃金
六圓 肥料代金
三圓五十錢 小作料
二圓 農具消耗費
二圓 聯繩其他雜費

差引金十六圓五十錢 耕作者一反步の利益

……なる幹干の一例を擧げて耕作原價を關べんか。……

京日詩壇

○始政五年共進會 西田白陰

蒼生日夜盡丹誠。無限仁風八道洽。觀客如雲趨盛起。燦然文物古王城。

評曰 使讀者感奮

○同上 安永春雨

朝鮮始政五周年。皐澤洋々八道大。興學勵醫新性命。植林治水改山川。桑麻蔬穀產將熟。金革介鱗功欲圓。庶績圖開此會。竹冠緇帽影相聯。

評曰 一幅共進會之寫眞。

我皇始政五周年。八道謳歌景瑞煙。棉雪稻雲秋色好。惠風慈雨遍朝鮮。

評曰 情摯詞質。

電燭如花人若雲。百工觀盡有餘欣。和韓歌舞故宮夜。不夜城中娘子軍。

評曰 妍麗之中。有無限之感。

○得桑原明府與令室及二愛兒之訃悵然賦示 江原如水

飛梧伴雁長不回。玉蹉湖畔雨聲哀。香閣絕塵前夢遠。驪呉望患茎。

評曰 一字一淚。凄絕慘絕。

年賀用文字葉書及繪葉書例年之通發賣

まだ〳〵と云ふ間に近し年の暮 早く早く一刻も早く御用意あれ

文字葉書 賀正とか謹賀新年とか各種の年賀文を印刷せるもの 一枚三厘より一錢まで

お正月のおめでたい繪葉書 一枚五厘より三錢まで

朝鮮風景風俗の意匠繪葉書 一枚一錢五厘より三錢まで

大正五年丙辰龍の繪葉書 一枚二錢より五錢まで

勅題寄國祝の繪葉書 一枚二錢より四錢まで

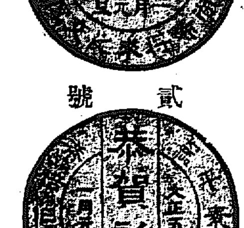
●年賀狀に共進會繪葉書の御利用!!
●殘品處分の爲め半直段にて提供!!

京城協賛會發行 始政五年記念 **共進會記念繪葉書** (三枚一組定價拾貳錢) 此半價金六錢 送料二錢

共進會光景繪葉書 (十六枚一組定價二十四錢) 此半價金十二錢 送料二錢

▼內地へ御差出しになります年賀狀は御人々により御好みが色々ありますがつまり朝鮮の氣味ある意匠ものや朝鮮を紹介せらるゝのが受信者には評判がよろしい
▼されば朝鮮の始政五年間の發展を事實に表明したる共進會の記念繪葉書や光景繪葉書を年賀狀として御差出になれば最も見方に注視せられます
▼そこて左の如きスタンプを押捺致しますれば畫面の体裁もよし文學を御書き入れなさる手數もなへ誠に氣のきいた年始狀てあります

壹號



貳號

參號

朝鮮名所風俗繪葉書發行元
內外各種繪葉書發賣元

京城本町二丁目(本店) 電話九五六番
京城本町明治町(支店) 電話一二七六番

日之出商行

振替口座京城四〇二番

●代金は必ず振替口座へ御入金被下度候代金引替小包にては發送不致候
●營業の方は金貳圓也御入金被下度見本取揃へ番號附にて發送仕候

◎支那國體愈々決定

開會劈頭倫貝子袁總統を皇帝に推戴主張=袁皇帝滿場一致

十一日開かれたる全國々民代表者國體問題の投票は滿場一致君主立憲政に贊成したり開會するや倫貝子は一場の演説を試み袁總統を支那皇帝に推戴せんことを提唱したり次で袁總統に皇帝たらんことを請願すべしとの決議を滿場歡呼の内に決定せり同日は傍聽席は滿人漢人及び蒙古人を以て滿員の有樣なりき多數の漢人の見えたるは一般の注意を惹けり當日の議場は活氣に滿ち居たりしも議場は極めて秩序正しく行はれたり(北京特電)

◎袁氏登極の大芝居

支那一流で三度御辭退申す

參政院は十一日付袁總統に申請して曰く民意は悉く總統の皇帝の位に就き立憲君主政を敷かんことを希望すと之れに對し袁總統は支那一流の三度辭するの形式を踏む爲め同日正午參政院より送れる詞文及び推戴書に對し復文を添へ返送せり之が爲め參政院は午後五時より臨時會議を開き袁氏の德を頌し即位を固辭するの要なしと洛々數千言の上奏文を作成し詞文推戴書と共に再び政府に送りたり尚ほ聞く所に依れば袁氏は尚ほ一二三回延期を繰り返すべしと(北京特電)

歐洲大戰亂

▲戰局急要問題決定

英佛兩國代表諸大臣の會商

巴里來電によればブリアン首相及びカリエニ陸相は佛國を代表しグレー外相キッチナー陸相英國を代表して其の會商に於て完全なる理解の下に戰局に關する最も急要なる問題に決定を與へたり(紐育電報)

▲巴爾幹戰爭繼續決定

巴里來電に曰く英佛聯合軍は巴爾幹戰爭を繼續するに決したり(紐育電報)

▲ゲウゲリ占領せらる

サロニカ來電=信ずべき報道に依ればガルウイツ將軍の率ゆる獨軍二個師團はゲウゲリを占領したり(倫敦電報)

◎蒙古王懲罰委員會

討論の結果譴責に決定

佐々木安五郎氏懲罰事件に關する懲罰委員會は十一日の本會議終了後開會直ちに秘密會と爲し先づ喚問に應じ出席したる佐々木氏に對し發言取消の意志ありしや否やを問ひたるに佐々木氏は島田議長の取消すや否やの質問に對し議長の指示に從ふ可しと答へ更に議長の同一質問に對し前の通りと答へ偶取消の意志を表明せん爲に發言を求めたるも議長は發言を許さゞりしなりと説明して退席し岩本平藏氏島田議長の出席を求むべしと主張したるも與黨側の反對ありし樣子にて否決し渡邊明氏當時佐々木氏取消の意思を發表せんが爲め發言を求めしも議長之れを拒絶せしを以つて佐々木氏を責む可きに非ずと無罪論を主張し金澤種次郎氏の駁論ありて討論終決し裁決の結果十一名に對する十五名にて佐々木氏を譴責するに決して散會したり(東京特電)

◎次期大統領候補者

[illegible]

雜報

◎支那紙幣回收

紙幣回收は支那政府多年の懸案なるも準備なき爲め成功せざるが財政委員會にては今回案を具して建議を爲せり周財政總長の採用する所となりたれば近く左の方法により回收は行はるべしと(北京)

一、山東、山西、江西三省は官有財産は紙幣回收の準備金となす
二、直隸、河南、江蘇、安徽、四省は地方税は紙幣回收の準備金とす
三、奉天、吉林、黒龍江、湖北、湖南、四川六省は外債を借りて紙幣回收の準備金とす
四、甘肅、新疆は鹽税を以て紙幣回收の準備金とす

◎滿蒙銀行設立

滿蒙開發に貢献すべき一金融機關として滿蒙銀行設立に關し政府は既に其の案件を作製し今期議會に提出すべき模樣なるが同案が如何なる内容に依りて成立したるやは未だ明かならざるを以て之を批判し能はずと雖も要するに滿蒙に於ける開發事業に對する資金の供給をなすべきものとすれば内地の農工銀行と同樣なるべく果して然りとすれば滿洲には既に正金の特貸あり滿鐵の特殊事業に對する保護等是と類似のものあれば同銀行と是等の關係如何に就き滿鐵某氏は語つて曰く滿鐵は營業以外に滿蒙開發に對する一使命を有するものなれば假令同銀行が成立すればとて從來の方針に變更あるべきに非らず即ち附屬地内に於ける發展的事業にして個人にして不可能なるものに對しては滿鐵は從前同樣相當の援助を與ふべきは勿論にして殊に必要と認めて相當の保護援助を與へたる特殊貸付の如きも尚進んで出來得る限り繼續すべきは當然なれば結局同銀行が設立せられたる場合同銀行の方針如何に依り滿鐵と銀行との間に協定を遂ぐるに至るならんと想像せらる(大連)

◎海軍大學行幸

聖上陛下には十二日午後一時御出門海軍大學校へ行幸あらせられ御少憩後講堂に臨御海軍大尉吉成策雄氏の講演を聞召され次で式場に臨御校長は各卒業生に證書を授與し松村侍從武官は御沙汰を奉じ優等生佐官に對し刀劍一振尉官に對しては銀時計一個宛を賜ひ午後四時還御相成りたり(東京特電)

◎奉天中立諭告

奉天省に於ては嚮にも北京の命を奉じて英露佛の協約國に加盟するの誘引を受けしを否定し中立を嚴守するの旨告諭を發せしが尚ほ徹底せずして民間往々其説を流布するものあるに付り十日更めて中立の諭告を管内に發したり

◎滿鐵旅客增加傾向

滿鐵全線に於ける乘降旅客は昨年度來非常に減少し本年度上半期に於ても其の傾向最も甚しく滿鐵にては其の原因に就き種々調査しつゝあるも要は歐洲戰亂の爲め外國人旅客杜絶したると滿洲地方經濟情況不振の結果地方人の乘降少きこと確かに其の原因の一たるべく殊に銀相場下落に伴ひ金本位の滿鐵運賃と非常なる懸隔を生じたるを以て各地の往復にも成可く徒歩の方針を取りつゝあるは旅客減少の他の一因たるべけれど其の最重原因は山東苦力出稼の往復減少にして元來苦力は每年一回故郷に歸還するを例としたるに近年に至りては兩三年間に一度位歸還するの風を生じ即ち苦力は往復の旅費として空費する出費を節減して貯蓄を增加せんとするの考を所持する者漸く多きを加へたる事實にあるべし而かも此の傾向は逐年增加すべきを以て滿鐵にては成可く苦力の招徠に努むべく凡有便宜を計りつゝあるも昨年の今期に比すれば尚乘降數少しとはいへ十二月に入りてよりは多少增加の傾向を示しつゝあれば或は昨年度以上の增加を示すに至るやも知られざるが其の原因を考査するに昨今銀相場の一躍二圓以上に昇りたると特産出廻期に近づき地方人の往復漸く盛んなるに至りたるに依るべく此の傾向にして持續せば逐次旅客乘降數の增加を見るに至らん(大連)

◎森林保護保育

林政機關の進展

鮮内國有林野の保護に就きては從來比較的保護の急務を感ぜず京畿府内の森林及び元李王家陵園墓附屬森林に對してのみ保護員を配置せしに止まりしも國有林野の狀況は保護機關を增設するの必要に迫られつゝある▲が故に大正元年度に於ては保護豫算を增加して差當り重要なる森林十六箇所に保護區增設の決定を見るに至れり仍て先づ同年五月府令を以て國有森林山野保護規則を制定し次で六月保護員勤務規程を定め、地方長官をして保護の事務を掌らしむると共に特に保護を要する林野には▲森林保護區を設くることとし、保護區には山林監守補數人を置き山林監守は監守補を指揮監督して相當區域内に於ける國有林野の保護、保育、整理並に保安林の監視に從事することゝし同年七、八月の交山林監守に對し必要なる學科を講習し八月に至り森林保護區を定めて一般に告示し、從來存置したる京城府内の保護區四箇所に新に增加したる十六箇所を加へ計二十箇所の保護區を置くことゝせり、然れども此等增設の箇所のみにては尚ほ單に一部分の保護を爲さしめ得るに止るを以て一般の林野に就ては從來の如く警察官吏をして保護員の職務を擔任せしむるの必要あるを認め大正元年十月警察官吏は道長官の指示に依り地方官を補助して其任に膺るべき旨の訓令を發布されたり、大正二年九月に至り更に前記の▲森林保護員の不足を補はむが爲め保護の急を要する忠淸北道外七道内の樞要なる箇所に對し警務機關の一部として山林監視所十二箇所を新設し、之に憲兵上等兵及び同補助員を配置し憲兵上等兵は山林監守、同補助員は山林監守補の勤務に準じ主として森林、山野の保護取締に任ぜしむることゝなれり越えて大正三年三月濫伐の最も甚しき濟州島の森林に一保護區を設置するの必要を認められ比較的警備機關の保護に移すも差支なしと認められたる其他保護區を撤廢して濟州島に之れが設置を見たり、而して大正四年三月保護上の必要に應じ慶尚南道金山保護區を撤廢して之を平安北道楚山郡に設置し、同道雲山保護區を昌城郡に變更し、又た九月京城府内四保護區の名稱を改正したり、本年十月末現在に於ける森林保護區數は總計四十一箇所にして當該人員は專務二百五名、囑託五十一名なりと

◎仁川繩叺檢査に就て

某當業者談

仁川檢米成績は既報の如く概して良好にして好調に行はれつゝあるが其後聞く處に依れば客月中の檢査總數二萬一千四百三十二叺の内不合格品六百零八叺なるが其缺點は多く米其物よりも寧ろ包裝繩叺等に多く▲折角夾雜物三分若くは八分以下のものにして乾燥の程度等も頗ふる良好にして當然合格すべきものも包裝の缺點より不合格となりたるもの比較的多かりしに就ては之等の不利不便を除く爲め包裝用繩叺の豫め檢査を施したるものを使用することゝすれば輸移出米檢査中に於ける包裝の檢査手數を省略し得べく又米穀商人も受檢に際し種々なる不安を免かれ得て勞相互利益すること多かるべく就ては此際仁川に搬入する凡ての繩叺に對し道令規程に依る▲檢査を施行する統一的の檢査機關の必要を感じ目下各當事者に於て檢査方法等に就て攻究中なりと云ふが仁川穀物商間には夙に其必要を感じつゝありしも未だ實行の機運に至らず大に遺憾に思ひつゝあり處過般來檢査實施後明らかに其必要に迫られ勞群山木浦鎭南浦等に於ても數年來之れが檢査を施行しつゝありしを今回更に道令規程に依り改正實施しつゝあれば之が實施は仁川米界に於ける目下の急務なるべし

◎京畿學校決算

京畿道管内に於ける公立普通學校五十二校に於ける大正三年度歳出入決算左の如し

▲歳入經常部

基本財産收入	七百八十圓八十九錢五厘
其他財産收入	九百七十九圓四十錢五厘
授業料	七千二百九十圓四十七錢
恩賜金利子	三萬八千四百六十七圓五十錢
學校財産收入	一千四百十圓十三錢五厘
戸税附加	一千百圓八十五錢五厘
家屋税附加	千六百六十八圓九十三錢五厘
地税附加	七千五百十九圓十五錢
計	七萬一千百〇四圓七十五錢六厘

▲同臨時部

繰越金	八千三百四圓八十二錢三厘
地方費補助	八萬九千二百二十三圓五十錢
國庫補助	二千七百十九圓六十二錢二厘
下賜金	なし
財産收入	二十五圓
計	十萬二百七十二圓九十四錢三厘
合計	十七萬二千三百七十七圓六十九錢八厘

▲歳出經常部

俸給	九萬七千百九十三圓四十一錢
旅費	七千六百五十一圓五十四錢
雜給	一萬四千八百八十六圓八十一錢
備品費	九千九百五十七圓二十八錢五厘
消耗品費	八千六百十三圓八十四錢五厘
通信費	千八百四十圓六十三錢
國庫納金	七百七十五圓十四錢
死亡賜金	四千六百四十六圓七十八錢
退職給與金	二百零一圓
基本財産費	六十一圓
修繕費	百五十八圓三十一錢五厘
簡易實業學校費	五千八百四十四圓五錢
計	十五萬三千百三十八圓二十九錢五厘

▲同臨時部

建築新營費	七千七百四十八圓八十四錢
積立金	二十五圓
計	七千七百七十三圓八十四錢
合計	十六萬九百十二圓十三錢五厘
殘額	一萬一千四百六十五圓四十七錢四厘

◎出願鑛區激增

未曾有の現象

鑛業出願件數が共進會開期中半以來非常の激增を示し近年稀有の現象なりとて當局者を驚かし居れるは既報の如くなるが今十、十一の兩月に於ける出願件數を見るに十月中は合計九十五件にして之を前年中の同月四十件に比すれば五十五件を增加し十一月は合計百十一件にして前年同月中の三十一件に比すれば實に八十件の激增なり、而して其内譯如何といふに十月中の出願者別は内地人三十八名、朝鮮人五十七名にして鑛種は金鑛の四十五件を第一とし砂金の二十八件之れに次ぎ黒鉛鑛九件、金銀鉛鑛四件、金銀鑛三件等順次相次げり、又十一月中の出願者別は内地人五十三名、朝鮮人四十三名、外國人十五名にして鑛種は金鑛四十七件、砂金二十六件、黒鉛鑛八件、金銀銅鑛七件、金銀鉛鑛四件、銅鑛、金銀鉛亞鉛鑛、金銀鉛鑛各三件、銀銅鑛三件等を主なるものとす尙ほ兩月中の出願鑛山所在地は兩月とも黄海を最多とし咸南、忠淸南北、平安南北等之れに次げり

◎海事新判決令

本年一月瀨戸内海高松沖男木島燈臺附近に於て佛國郵船コルデリア號英國リユフアンネル汽船ハイソン號の衝突事件成行如何は内外人の共に多大の注意を拂ひ居たるが曩に大阪地方海員審判所に於てはハイソン號の水先人は免狀一箇月間の停止を命ぜられコルデリア號水先人は過失の停止を命ぜられ其主なる原因はコルデリア號の過失に在りと裁決せられたるを以てコルデリア號水先人地方審判所理事官は共に其不當の裁決なるを主張し高等審判廷に控告するに至りて該審判は東京高等審判廷に於て開かれ審理の結果七日判決言渡ありてコルデリア號水先人は不懲戒、ハイソン號水先人は水先免狀一箇月停止の最終判決あり衝突豫防の解決並に法の適用につき一新例を開きたりと(大連)

兩船の衝突せし場所は島嶼多く而かも航路非常に狹隘にして風曲せる從來海事法の規定に依て各船其の針路を守るべしとあるは航路の如何に拘はらず其方向に從ひ避くべきにコルデリア號は豫定の航路を取りたるが爲めに衝突せりとの解釋の爲めに大阪地方海員審判廷に於て敗訴となりたる次第なるが控訴の結果風曲せる航路に於ける船舶の針路は其の航路に向つて進行すべきを當然なりとの解釋なりと認められ遂にコルデリア號の勝訴となりたるなりと

(左端欄・破損)

……間島との交通も會寧附近豆滿……

……して工兵隊以東及び射的場として入……東の新……[illegible]……多數散在……

々の發展策を講ずるもの少なからず(新津)

りたれども本夏來價低落の爲め……木材下商を木杷間に葛藤を生じ遂に木……て後繼を惧れて出資を拒みたれば本年發山し得る木杷は昨年の十分の一……

滿江沿岸地方の北部地方之なり前者は海潮の影響を享け……所謂大陸的氣候にして……[illegible]

德富蘆花著 第百三十九版

小説 不如歸

▲定價金四十五錢郵税本社持

日本一の面白き小説として誰知らぬ者もなきは此の不如歸なり今や天下何れの家庭にも行き渡らざるなき有樣なり。然れども其の當用は毫も衰へず。我が出版界空前の版數を重ぬるに至れり殊に百版以後の卷首に蘆花氏自ら起稿の動機と事實に就き述たる序文を添ふ。此序文を見れば愈よ不如歸の面白きことを知べし

村上浪六著(其の傑作小説)

八軒長屋

前編 十四版 定價金七十錢
後編 九版 定價金七十錢
續編 七版 定價金六十五錢 郵便税本社持

八軒長屋は文章の外に、意匠の外に、議論の外に、著者その人を得ざれば能はざるものなり。戀愛小説にあらず。煩悶小説にあらず。自然主義にあらず。机上の理想主義にあらず。實際に於ける一種の人間學を逆境と滑稽の兩面より寫せるもの。

京城日報代理部

公告

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左記ノ日時ニ於テ競賣ニ附ス競賣保證金ハ申出額ノ十分ノ一

◎京城府東崇洞三十一番地 宅地五十八坪 最低競賣價額金五十八圓也 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪十三坪九合八勺 最低競賣價額金十三圓九十八錢也 右競賣申立人 卞今基 不動産所有者 朴灃

◎京城府通義洞九十四番地 宅地四十八坪 最低競賣價額金百三十四圓五十錢也 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪八坪四合五勺 最低競賣價額金十二圓六十錢也 右競賣申立人 林在鍾 不動産所有者 趙錫潤

◎高陽郡漢芝面往十里余契洞一番地 宅地百五十四坪八勺五才 最低競賣價額金九十二圓四十五錢一厘 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建住宅一棟 建坪十五坪二合 附屬木造瓦葺平家建廂舍一棟 建坪二十一坪九合八勺 同木造瓦葺平家建一棟 建坪六坪二合四勺 最低競賣價額金二百十五圓十錢也 同郡同面往十里舞鶴洞四番地 田四十八坪七合八勺五才 最低競賣價額金十九圓五十一錢四厘也 右競賣申立人 金鑠植 不動産所有者 元鼎玉

◎京城府元町二丁目八十一番地 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪二十六坪一合四勺 内釦丹葺十六坪一合五勺 最低競賣價額金百五十六圓八十四錢也 右競賣申立人 上原友太郎 不動産所有者 依田文吉

◎京城府長谷川町八十番地 宅地八十六坪 最低競賣價額金一千三百三十三圓也 右競賣申立人 日韓殖產株式會社 不動産所有者 下村榮太郎

◎京城府明治町二丁目九十番地 宅地四十九坪 最低競賣價額金七百三十五圓也 右地上ニ建設 煉瓦造瓦葺平家建本家一棟 建坪十七坪九合七勺五才 最低競賣價額金四百七十三圓三十八錢五厘 右競賣申立人 東京建物株式會社 不動産所有者 岡田三郎

◎京城府西大門町二十五番地 宅地四十八坪 最低競賣價額金八百六十四圓也 右競賣申立人 金在瑞 不動産所有者 幸山淵

◎京城府竹添町一丁目八十一番地 宅地三百九十坪 最低競賣價額金二千七百三十七圓也 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪九十八坪七合三勺 最低競賣價額金五百九十二圓三十八錢也 右競賣申立人 中野宇六 不動産所有者 李權振

◎京城府三清洞百四十七番地 宅地六百五十三坪 最低競賣價額金一千三百圓也 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪百四十七坪三合八勺五才 附屬木造草葺平家建浴場一棟 建坪五坪七合五勺 最低競賣價額金六百十二圓五十四錢也 右競賣申立人 金泰潤 不動産所有者 京城府西大門町一丁目百八十五番地 閔泳綺

◎宅地六十一坪 最低競賣價額金五百七十九圓五十錢 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪十七坪三合五勺 最低競賣價額金三十六圓也 右競賣申立人 文炳九 不動産所有者 延燈祥

◎高陽郡纛島面纛栢洞十九統一戸 宅地四百十四坪二合七勺 最低競賣價額金二百七十圓十三錢五厘也 右地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪十五坪八合二勺五才 附屬木造平家建三棟 建坪二十四坪四合五才 最低競賣價額金二百一圓十五錢也 右競賣申立人 金洪秀 不動産所有者 劉斌僕

◎京城府齋洞二番地 宅地六十六坪 最低競賣價額金二百五十圓也 右地上ニ建設 木造草葺平家建本家一棟 建坪十七坪四合 最低競賣價額金四十三圓五十錢也 右競賣申立人 向田喜三郎 不動産所有者 李揆同

◎京城府觀水洞百十番地 木造瓦葺平家建本家一棟 建坪二十坪四合一勺 最低競賣價額金百二圓五錢也 右競賣申立人 西島峰三郎 不動産所有者 崔東

右競賣期日ハ大正四年十二月十八日午前十時トス

一、石炭七百六十八噸(塊炭)

右賣拂ス詳細ハ大正四年十二月十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

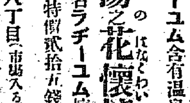
朝鮮總督府

仁川協贊會寄附廣告(第四回)

○特別名譽會員(金二百二十圓ノ部) 朝鮮商業會議所
○特別名譽會員(金百圓ノ部) 仁川解業組合
○名譽會員(金五十圓ノ部) 香橘
○特別會員(金二十圓ノ部) 早川演部
○正會員(金十五圓ノ部) 共益社
○正會員(金十二圓ノ部) 趙聖瑞
○正會員(金十圓ノ部) 澁川常二郎
○正會員(金六圓ノ部) 李士允 朴在秀
○正會員(金五圓ノ部) 金仁澤
○贊助員(金四圓ノ部) 有竹銀次郎 同友信 李敬三
○贊助員(金三圓ノ部) 李觀夏 鄭裕泰
○贊助員(金二圓ノ部) 李興詳 金宗煥 李景三 金尙敬 李文
○贊助員(金一圓五十錢ノ部) 金圭晃 尹錫杜 金基 李在根
○贊助員(金一圓ノ部) 金文和 李甲壽 徐雨天 朴許化 張明河 朴泰梧

計 金四百八十七圓五十錢也
前回累計 四千八百九十四圓三十錢也(第三回累計分)
但累計ノ内栄幾用ヨリ寄贈シタル掛時計ハ見積價格十圓ト記載シタルモ實際價格五圓ニ付訂正又前回報告ノ分重複一圓ヲ扣除訂正セリ
訂正累計金四千八百八十八圓三拾錢也
總累計金五千三百七十五圓八拾錢也
右之通リ寄贈相成候ニ付此段及廣告候也
大正四年十二月八日
始政五年記念朝鮮物產共進會
仁川協贊會

新案登録



◎經濟的永久使用 小判形保溫器
ラヂーユム含有溫泉
溫泉 湯之花懷爐
一名ラヂーユム懷爐(特價弐拾五錢)
溫泉湯の花發賣元 品川商會
廣島市大手町八丁目(市場入る北)
特約店及販賣員希望方は返信料要す

●會寧市況色めく

會寧の市況は近來少しく色めき亙りたれども前年來の不況に幾分本年水害の影響を受けて豫期せる程引立た[illegible]缺せる趣あり過日軍營地として陸軍の買收せる土地は營舍敷地練兵場と[illegible]しめて延長數町に亙る地域を選定買收せられしものにして工兵隊營舍以[illegible]々の著手を[illegible]山して來春解氷迄に伐木に從事する[illegible]を常とし本年も既に登山期に至し迫[illegible]求めたれども材木商は目下同山地は[illegible]剝盜[illegible]賊頻出して物情不穩なるを以[illegible]

●[illegible]

[illegible]南北二區に大別さる[illegible]南北の二區とす沿海地方の南部及び豆[illegible]つて農作物の生育最も旺盛なり[illegible]

●革命戰見物の記

上海海岸通りの大騷動

九日午前六時半入港の郵船三島丸にて歸朝せる上海新谷洋行主任新谷彌市氏は同地の革命騷動に就き語つて曰く『丁度■五日の夜は我々は機器局から約一里離れた虹口文路に在る日本人倶樂部の一階に催された玉突の會に行つてゐた、同夜集つた日本人は三十名餘りだつたが夜七時頃と覺しき頃何たかバチ／＼と爆音が聞えて來た、初めは例の婚禮か何かで爆竹でもやつてゐるのだらう位に思つてゐたが容易に其音が止まない、其中に電話で■革命黨蹶起の旨を知せて來たから其は面白い見物しようと許り一同俥を驅つて見に出かけた、常ならば二十五錢位で行けるのが同夜は車夫が少なかつたと戰線近くに行くのとで一圓程の俥賃を取られた、行つて見るとモウ戰線よりは遙かの遠方で■武裝の支那巡查が警戒線を張つて一々誰何する、支那として頗る早い手廻はしで何う考へても是は前々から騷動を豫期しての注意であつた事と推察される、然う云ふ工合に警戒が嚴重なので機器局の近くまで行つて見る譯には行かなかつたが自分達の居た邊から戰の模樣■手に取る如く見えた、其夜半に革軍は極めて容易に同局を占領したものらしく、八日朝は寧ろ餘り早く成功を言ひ過ぎての祝盃かなどに油斷し切つたものかとも思はれる位で、翌朝は一向砲聲も聞かなかつた、自分は八日朝は別に大した事もないと思つたので豫定の通り■三島丸に乘つて了ひ其後の模樣は無線電信で聞いた位のものである、一體上海で革命騷亂を起すのは日本の一月或は支那の正月とか云ふ祝節の前日に起すのが例になり又一番都合が好いらしい、其は何故かと云ふに全國各地に出稼ぎ中の勞働者が其頃には續々と■上海に集る 平常仕事をしてゐる苦力共も此頃になると仕事が無くなる遊んでゐるので、此連中がワイワイ騷ぎ立てる、是を利用すれば火の手を大きくするのは何でも無い譯だ今度も其等の連中が革命黨員指揮の下に機器局襲擊と出かけたらしい、尤も十月頃から■今年の暮迄には革命が起ると云ふ事は豫期されてゐた、即ち武器彈藥の密輸入があるし、商況にも多少の影響は見えて來る、殊に税關の監視は嚴重になつて來たので多分革命騷ぎがあるなどは思つたが、機器局を襲ふとか上海に烽火を揚げるとか云ふ事は推定出來なかつた、ツヒ十日程前だつた、上海の或町の通で■宮崎滔天の兄などが何か忙しさうに步いてゐるにも逢つたし革命と直接關係があるか無いかは知らないが日本人で火藥等を持つて入り込むものも多く、最近四五名も税關から日本領事館へ引渡される始末で、中にも十日入港汽船樺丸で大連から渡來した大谷管次郎と云ふ■二十四五歳の男は多數のダイナマイトを行李に入れてゐるが其上陸に際し持てゐるだけの數を身體中に押し込んで甘く税關の目を逃げようとしたのを發見され其大膽と云ふより寧ろ無謀な遣り口には税關官吏の多くを戰慄させたさうだ■先づ今度の動亂は一時鎭靜に歸したが是が導火線となり何回となく盛に各所に蜂起する事だらうと思はれる、方々に起つて來るだらう吾々商人としては戰爭は大禁物であつて折角取引をしておつたものでも革命となれば、代價は拂はず品物は引取もしなければ返すでもない■其儘棄置くと云ふ始末其革命に依つて生ずる損害は何ともする事が出來ないので甚だ迷惑をする、革命騷動の爲め第一に影響を受けるのは綿花の下落で次で海產物の不況であらう、夫から聞く處に依ると五日夜革命黨員四十餘名が手に／＼■拳銃を携へて軍艦肇和に襲擊して乘組員を追つ拂つたとか降伏せしめたとか云ふが夫れは噓らしい幾何支那兵が弱くつても少なくも三百近くの乘員を有して僅か四五十の革命連に降易する筈もなし急に四五十の黨員が占領してから直ぐ其艦の砲を使用すると云ふ事が出來る筈もないので是は■一說に今回の首領と云はれてゐる陳其美と肇和艦長王との仕事だらうと云ふ噂だ、此兩人は平常非常に親密な間柄で時折相會しては彼等支那人が樂しみにする『モージヤン』と云ふ賭事なども共にやると云ふ位だから或は王が革軍に應じ度くも身官職にあるが爲め一度革軍が襲ふた如くにして其實王其者が■陳と打合せてやつた仕事かも知れないと云ふのだ、又陳などが平常云つてゐる事には自分の首には數萬の金が賭けてあるから常に四五人の案採が附纏ひ甚だ危險だから出步くのを避けろと注意されるが今切つて了へば彼等の金儲が無くなるので却々俺の首は切られないよと云つてるさうだ、怎うも今度の首領は瞰らしい

■上海では革命と云つても日本で火事を見る位にしか思つてゐない程慣れて了つてゐる何分近來革命黨員の往來は可成頻繁らしいが斷髮以來日本人も支那人も印度人も馬來人も一寸見分が付かないので彼等は悠々と支那官憲の眼を晦す事が出來る譯だ云々(大阪支局)

●華燈の輝き彩袖のこきめき

大隈首相夫妻の大禮奉祝大夜會

大隈首相夫妻の主催に係る御大禮奉祝の大夜會は十一日午後九時を以て開會されたり當夜の盛儀に招待せられたる賓客は北白川宮同妃房子內親王、竹田宮妃昌子內親王、梨本宮妃伊都子四殿下を始め佛、米、露、伊、英等各國大公使同夫人各國務大臣同夫人其の他文武百官內、外、淑女等二千餘名華電燈眩き玄關の右側には首相夫人綾子薄紫の洋裝にて首相代理一木內相と相並んで一々來賓に挨拶し當夜は舞踏を廢し宮內省雅樂部の舞樂あり雅樂の古典的なる囃と管絃樂の近代的なる旋律と交互に奏せられ聽て春花庭の舞曲始められたり彼冠して太刀佩く舞人は小袖を翻へし雅びやかに美しく舞ふ姿を各宮殿下も最と興あることに御覽あり十時半食堂を開き二千餘の來賓一堂に會し一木內相一場の挨拶を述べ 陛下の萬歲を三唱し十一時各皇族殿下御歸還あり瑞祥漲れる當夜の夜會は十二日午前一時過に及たり(東京特電)

●秘密一天張のところを

一寸蓋を開けてお目にかければ

京城商業會議所の選擧期日も剩す所當日共三日と迄切迫した▲豫想した程の選擧騷ぎもなく所謂豫定の人豫定の如く當選するは何等の疑義を挾むの餘地がないだらう、今は唯■單に得票の多寡を爭ふの一點となつた▲今に始めぬことながら京城の選擧騷ぎは始めに旺んで終りに寂れると相場の定まつて居るやうだ▲其證據に何處の候補者の宅を伺つて見ても憎らしい程納りかへつて『チヤーント僞等にや成算がありますわい』と云つた風▲僅かに候補者の末席……と云つては甚だ失禮だが此種の人々が多少彼方此方でいら／＼して居るのが何んだか少々滑稽じみた氣味もせんではない▲何んの斯のと云ふもの丶新手の方ももう選擧の材料が盡きた▲無い所から出すのはとても生みの苦しみ所ぢやない▲仕方がないから選擧間際迄書いて呉れなと賴まれて居る候補者の豫選得票數を擧げて見よう▲先づ一級から始める――一級では何んと云つたつて原田金之祐君が最高點で四票其お次が唐川立造、林田金次郞、賾江澤次郞、釘本藤次郞、天日常次郞の五君が各三票▲高木德彌、進辰馬、佐野彥藏の三君が各二票で闕繁太郞、梶原末太郞、林田茂一郞の三君は只の一票で當選▲未だ此投票が何會社から何某に投票して居る――賴まれて居る――と云ふこともちやんと判つて居るけれどもそこ迄は內證々々▲二級となると逆に選擧通の記者もいさゝか面喰はざるを得ない何しろ內地人だけでも四百二十何人かの有權者だもの▲分明ると云ふのが噓で分明らぬと云ふのが眞實だ▲それでも一人當り平均廿五票乃至卅票位の得票で最高が四十五票最低が十五票と云つた割合だらう▲其最高には誰かなる?古城、首藤石野の三君の呼聲が高いけれども就中古城君は其筋の古狸だけに……▲後から一番で出る者は誰だらうそれや――君と口まで出たが御氣の毒だから見合す▲何んと笑つても泣いてももう明日一日が關の山▲鬼も蛇も投票函から出はすまいけれど――君一票!!と選擧委員の呼上げる聲に何にやらが上つたり下つたりすることだらうテ

●異境の空に泣く淪落の女

何んの要務を持つた者か、物好きな單なる探險家か、それとも人知れぬ大野心を抱いた大山師か、それは誰も知つてゐる人は無い、簡單で無頓著なその旅裝が日本人であることは兎に角疑ひない、然も年は■廿四五の血氣盛りの若者 城廓の如く用心深く築かれた山間の農家は、一朝にして馬賊に襲はれ野に放たれた駿馬は野蠻な武人の鞭へも、日本領事館は勿論のこと、鐵道打つ時を待つてゐるかのやう、日本人の時適通る街道からも二三日程を要する山間の部落に忽然と現れたこの一青年は何んの理由もなく土地の支那人の注目を惹いた、猜疑深い表情と私語とは行く所に開かれた青年は其れを別に氣に止める樣子もなかつたが、と云つて彼等の下らぬ■疑心から暗鬼を生ましてつまらぬ臆測しもしたく無いと云ふ風でサッサと村道を辿つて行つた、彼は歳を急ぐのか、日本人の住む部落を戀しくてか、荒涼たる邊りの風光には殆んど眼も吳れずに步を進めて行つた、然も一日、それは人々は皆野に出て働らいてゐる晝過ぎ頃、或農家の門前で一寸立ち停つた旅の青年は驚愕に手に持つた洋杖を地上に落した程不思議なその家の一隅から見た、日本人でこの樣な處にまで來たのは自分が初めてゞあると確く信じてゐた彼は、幾年かをこゝで暮してゐたらしい日本人■しかも若い女の日本人を見付けたのである、けれども黑い眼と眼が合つた時、青年の驚きにも增して驚いたのは寧ろその女であつた、搖籃の身を忘れて彼の女が人の眼に觸れ易い門外に飛び出した、その事が十分にその間の消息を語つてゐるこの女の何者であるか、女の事情を打開けた訴へに對して男が如何に決心したか、又幾年間見ることの出來なかつた日本人、日本の言葉、日本人特有の俠氣に富んだ氣質から出る謀略、それを眼前に泌々と味ひつゝ、且聞いてゐる時の彼の女の心臟も破れさうな喜び、それは今更說明を要しまい、それから■數日の後某地の日本領事館に柳行李を背負つた一青年が現はれた、その青年は默つて行李を置いたまゝ何處へか姿を穩して仕舞つた

●不思議の病氣が流行する

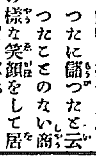
鴨綠江の對岸

平安北道中江鎭對岸支那臨江縣三道溝商城(江岸より西北方約八里)に病名不詳の惡疫流行し十一月十日頃より二十四五日頃迄の間に移住鮮人村在根外十四名は該病に罹り死亡せるが尙蔓延しつゝありとの事なる此れが病氣に取り付かれたるものは凡て五日乃至六日にして死亡するものにして一度犯さるゝ時は直ちに昇下及び手指黑色に變じ死に近づくに從ひ口中齒根は全く黑色となる由にて該地方移住鮮人等は此病氣は一種の熱病なりとて非常に恐怖し居れりと尙該部落附近には前記の病氣發生と相前後し獸畜にも病名不詳の傳染病發生し犬、豚、鷄の斃死するもの多く爲めに同地方人民は如斯獸畜斃死する以上は飼養するも何等詮なき事とし鷄豚等を帽兒山市場に出し販賣しつゝありて同市街附近の市街にも該病傳染の恐れあれば同地當局者は頗る嚴重に之が防止に努めつゝあり此の事なるが元來冬期結氷期に於ける對岸各地には種々なる流行病發生するを以て此際當局者は充分の注意を拂ひつゝありと(安東縣)

●煙管を左眼に突き立て殺す

平安南道平原郡龍興面龍山里金炳洙(三)は砂金採掘鑛夫にて同じ同業の李龍根なるものと去る五日勞働を終りて歸宅の途中多少懷に小金もありたるより路傍の酒幕にて飲酒しよい氣持ちにて同里一統呉昌奎方に來りし所怎うした機會か酒の勢ひから淺しき喧嘩口論初まり金は朝鮮式煙管の吸口を逆手に握り李の左眼窩の上方深さ一寸三分傷口直徑三寸三分五厘の突き傷を與へ遂に李が痛苦の聲を揚げつゝ橫死せるを見醉ひは醒め殺す積りではなかつたと後悔しても既に跡の祀り其儘何れへか逃走せしが其筋にて探索中(平壤支局)

●冬は襲著によく注意せよ



▲襲衣の手心 寒さが加はるにつけ追々著物や襦袢を二枚も三枚も襲ねたがるのが普通ですが以上にも襲ねた衣には注意しないと却つて健康を損ふ基となります其も人々の習慣に依る事で一概には云へませぬが體質の上から云へば一寸火鉢で手を炙つても汗が出るとか新らしい足袋が直ぐ脂染みて汚れるとか襦袢の襟が早く汚れるやうな人は例ひ痩せてゐても脂肪分の强い人ですから此麼人は襲衣を控目にして襦袢などは度々洗濯したのを著替へる如くにしないと却つて感冒を引いたりします殊に冬向きは夏と違ひまして

▲襯衣や襦袢 が汗ばんで氣持が惡くなるやうな事が少ないのですから一枚のものを長い間附けてゐるやうになります然るに一寸氣を付けて見ますと何時の間にやら襟の所が黑くなつてゐたりする事が往々あるものです斯樣脂染みた肌著を著てゐますと自然體溫も奪はれ易い又不潔の爲に皮膚を弱くしますから感冒に罹り易い其故襦袢や襯衣の洗濯は冬でも夏でも同じやうに注意をして幾ら少くとも一週間に一度は必ず洗濯をするが宜しい其から夏とか秋は天氣の好い日も多く選ら不注意の人でも

▲寢卷や夜具 を日光に晒す事は忘れないやうですが冬向きは兎角忘れがちになります殊に炬燵などありますと晝夜同じ夜具を使ひ通す事もあります雪空や何かで日光の直射する日が少ないツイ日光消毒を怠るのは人情の自然かは知れませんが晴天の少なければ少ないだけ夜具も濕り勝ちです從つて惡臭も浸みやすく黴菌も巣ひやすい意外の不健康(殊に結核性の)を醸しますから一日でも晴天があれば逃がさず寢卷や夜具を日光に晒して消毒する事を殊に冬向は心掛けて置く必要があると思ひます

●咸南降雪二尺

咸鏡南道奧地方一帶は十一日以來降雪二尺に及び行通杜絕す(元山特電)

●心臟病に罹る

岡山縣淺口郡玉島町生れの鴨野義雄(三)は陽州地方を漂泊中心臟病に罹り數日前歸鄉の爲め入京し鮮人宿に投宿し居りしも所持金とては一文もなく且つ病氣は愈重患に陷り知らぬ他鄉の旅とて寄るべき家もなく今は進退谷まり步行の自由さへ利かざる有樣となりたるより泣く／＼其旨具して本町署に保護を願ひ出でたるを以て同署にては取敢へず行旅病人として十一日夜身柄を府へ引渡したり

▲市中が景氣がいゝと寄ると障ると此噂で持切り▲めつたに儲つたと云つたことのない商人迄が泥惠比壽の樣な笑顏をして居る▲一體どんな人が主に買物に來るかと聞くと中流以下の人が多いと云ふ▲すると今年しや貧乏人の當年と見える▲吳服屋に行つた序に店頭に吊してある切地のことを何故『つい切』と云ふんだと聞くと▲番頭さんいやにエへ……なぞと妙な笑をしながら婦人が小切に目をつけて丁度餌に集る魚の樣に釣らして段々と店の內に入つて來るからだとサ▲も一つ景氣のよい話しをする、印刷屋に聞くと過去二年の間、絕えて久しく顏を見せなかつた『謹賀新年』が顏を出す樣になつて何方からも此方からも注文々々で眼の玉が引くりかへる樣だと云ふ▲お終ひに不景氣な話しでけりをつける、京城賃貸家の決議した掛賣代金の問題は却々餘程六つかしいらしい▲商人と御得意とよりも商人同士の間が支拂期日不勵行で約手でも三四回の月賦拂ひだと云ふぢやないか

●油斷大敵 風邪は萬病の本

補溫劑にして健胃(便通をよくす)を兼ねたる飲みよく偉効ある風邪に藥を求むるは血の道の良藥守妙を措いて

そは餘に愚なり

些微なる引風を等閑に附するが爲め遂に不治の大患に陷るは古來其例尠しとせず、我が妙振り出しは即ち此の四季の引風及びたんせきに最も妙にして

殊に婦人血の道逆上腰冷其他婦人病に頭痛めまひ氣ふさぎ等に用ひて驚くべき奇効あり模倣物多し御購求の際は守田の妙振出し即ち守妙と必ず御指名を乞ふ

注意 [illegible]

定價 試用 一貼金五錢 二貼金拾錢
德用包 六貼入 金廿五錢 十三貼入 金五拾錢 二十八貼入 金壹圓 六十貼入 金貳圓

東京上野池之端仲町二十七番地 寶丹本舖 守田治兵衞 振替東京二九八五番

(全國有名藥店にて販賣す)

京日案內

●普通 一回前金三十錢(但四行迄)匿名一回毎に金五錢增

●番外 一回前金六十錢(但四行迄)匿名一回毎に金五錢增

●中學▲女學▲講義錄新會員募集 目下入會金全免見本附規則書進呈 京城吉野町●大日本國民中學會支局 149

●古本なら野村 買入賣御報參上 京城本町一丁目(明治町筋) 電話二六三六番 野村書店 112

●新發見有利事業 至急讓る但し何人にも 小資本にて出來る (姓名在社) 158

●開店 うどんそばしる粉ぞうに會席料理辨當仕出し其外御好み特に勉强仕候 南米倉町市場 水所上る かもめ庵 157

▲精肉賣出 ●豚肉あり 本町三丁目 若草町入口 松居精肉店 156

●家具全般付賣出 一圓御買上に一等より十一等迄一本籤穴なし ●歲暮景品 ▲本町三丁目 電話三二五 橋本家具塗物店 155

實用新案 堅牢椅子 火鉢 製造 洋家具 專業 松浦京城出張所 黃金町二長橋通角 ●電話三三五九 154

內科 小兒科 專門 胃腸病 呼吸器病 (入院隨意) 京城本町二丁目 壽町元中島病院跡 山田醫院 電話二八八〇番 81

恩給 年金 抵利即時立替 有價證券 買賣 年內資金豐富 長期間 御望みの方へは持に御相談に應ず 京城永樂町一百四四 總督府商品陳列館前 江州屋 99

移轉 市區改正の爲め左記へ移轉 轉業 格別勉强仕候 自動防火庫 高崎製金庫 京城支那領事館通 電話四九四番 淸韓洋行

歲暮 景品 提供 大評判 安價 黃金町三丁目 山田文殊堂の景品賣出を是非一度御試あれ 五十錢買上に籤一本 電話なら(フクヨク)二九四九 141

●文房具店買受した 讓渡し希望者は左記へ 京城櫻井町一 電話九八五番 戶部質店 138

●はねつき うちみ くじき等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 127

●靴 並に 鞄 ●洋馬具一式 ●ズック品 ●革具其他 ●製造販賣 京城明治町二丁目 古賀商店 電話一八三三番 製品確實廉價提供 82

恩給年金類立替 京城日報社北右三 京城武橋町二十三番地 入電話二二八三番 國江商會 104

梅毒 產婦人科 ●肺結核 內科外科 ●診察夜九時迄 ●往復電車の便有 黃金遊園前電車通 上野醫院 電話二九三四番 97

恩給 金即時立替低利 手數料安 各地方代理者不及上京便法有 若草町停留場南入道路突當門內 電話二二六三番 京城若草町百〇六 西村商會 102

皮膚病 花柳病 專門 永樂町一丁目商品陳列館坂の上 須古醫院 電話二一〇二番 90

千生瓢（68）

須藤南翠作　筒井年峰畫

驕將（八）

主命默止がたく、小寺、栗山の兩家老は、黒田吉兵衛尉長政を嫌しこしらへて、險しい山路に馬を驅り、三十餘町も退いた處に、長政忽ち手綱を控えて、
『作衛、四郎兵衛、何と申した。北國勢强く、中川殿も戰死致されたに依て、玄蕃尉心弛み、大岩山に陣取つたれば、後に廻つて、山の上より眞一文字に討ち落し、佐久間を始め北國勢をば、鏖殺しにしようと申すに依つて、父上に引き分れ、此處まで參つたが、鐵砲の音も次第に遠く、矢叫の聲も聞えず、人馬の響きも絶々になつたではないか、大岩山へは何處から登るぞ、慥かに申し聞せよ』と詰かつた。
小寺作右衛門馬を前めて、
『實大岩山へ寄せるではおざりませぬ。大殿仰せられまするには、北國勢餘りに强く、能くせずば此陣も破らるゝであらう。去ながら始終は筑前守殿御利運なれば、若殿は筑前守殿御陣に御供して、其旗下に加はるるやう、我々御供申せとの、仰付けおざりまする』と、其實を告げたのであつた。
長政は聞きも了らず、眼血走つて
『やあ、作衛、四郎兵衛、鎧に承はれ、其方共は大殿ばかりを主と恃んで、此吉兵衛は主人とは存せぬな。』
『何とて左樣な儀おざりませう』
『然らば、大殿如何に仰せらるゝとも、一應其始末を此方に申し出で、得心させて取計らふべき筈ではないか』
『なれども、明さまに申し上げては、御不承知仰せられ、時刻を移す虞れおざるに依つて』
さては己等が心のまゝに、我を欺むく面の憎さよ。幼稚と申すは五つ六つの歳頃ぢや、はや十三にもなつて父と共に出陣しながら、父が大事の軍をするを他所に見て、身を逃るゝ程の長政と思ふか。其處除けや兩人と言ひもあへぬに、はや馬の鼻面引きかへして、一鞭くれて馳け出した。
栗山四郎兵衛大に感じて、
『麒麟の兒は當年よりと言ふ通り、可怖しき若殿よ。彼勢ひにては、何と申すとも我等が詞に從はれうぞ。跡追ついて、御先途を見屆け申さう。作衛おざれ』と兩人も馬引きかへし鞭鐙を合せて逐つ驅けた。
十町餘りも來た折から、毛色好き鎧著たる騎馬武者三騎、横斜に長政の馬の前を横切つた。長政遁さず馬驅け寄せて、
『乘打ちするは何者ぞ。北國勢と見たは僻目か』と聲をかける。
彼の騎馬武者も馬を廻して、
『是は德山が手の者おざる。高山殿言効なくも開城致し、殘念に堪へられず、斯樣に落武者を心懸くる者おざる。問はるゝは誰ぢや、若き人の優しく見えらるゝよ。定めて末代の名人おざらう。うち連れ申さう』と馬を寄せた。
『さては紛れもなき加賀侍、ござんなれ、我は黒田吉兵衛長政ぞ』
名乘りを上ると共に、太刀拔き翳し、後なる敵を袈裟がけに斬つて落した。前の二騎も引きかへして、
『天晴御手練、黒田と名乘らるゝからには、官兵衛尉が子息おざらう。名のる侍ぞ、片手うちに討ち取つて、柴田殿に奉つらうよ』と、槍投げ捨てゝ斬つてかゝる。
長政左右に受け流して、踏ん込み踏ん込み斬り結ぶ。小腕ながら長政が太刀風、面もふらず斬り込むに、二騎も少しく臆らひ難て見えたのであつた。小寺栗山此體を見て、馬を飛して馳け著けると、槍さし伸べて突きかゝる。是に氣を得た長政は、前なる武者の弓手をばらりと斬り落す。斯と見た一騎の武者は、敵はじとや思ひけん、引つ外して馳け出すを、小寺續く追ひ驅けたが、空しく行方を見失つた。栗山は馬より飛んで下り、武者の首をうち落して、肩をさつと打開き、長政が手柄を稱へて一時立つて舞ふのであつた。

新刊紹介

▲歴史地理 城郭之研究（大類文學博士著）我道の研究に殆んど一品の稱ある著者が東京以外の城郭に就ての論文を序説、市邑と山城、本邦人の城郭觀念、寺院と城郭、天守閣、江戶時代の黑郭、江戶城、京阪及東北の城郭、城郭の美、幕末の江戶防禦施設、城の文化史的研究の十一篇の外に附錄として本邦城郭保存の踏を加ふ（定價金八十錢東京小石川區坂町百九番地日本學術普及會）
▲世界之日本（十二月號）定價金十五錢東京小石川大塚坂町二四其社
▲實業界（年末大寶田號）定價金廿錢東京早稻田大學前同文館
▲書畫骨董雜誌（十二月號）定價金十五錢東京芝南佐久間町一の三其社
▲勞働及產業（十二月號）定價金十二錢東京府西巣鴨町五日市町一一三其社
▲廿世紀（十二月號）定價金廿五錢東京京橋區南鍋町三の一八其社
▲滿蒙研究彙報（創刊號）曩に土曜會として研究し來れる處を更に範圍を廣め名稱を改め支那及滿蒙に於ける社會狀態及各種產業の眞相を調査研究し之を會員に報告すべき第一號なり大谷光瑞氏の印代支那の佛教に就ての卷頭に論說、寄書、滿蒙事情、調査及研究、新聞抄錄等讀むべきもの多し滿蒙略圖を添ふ（會費一個月廿錢旅順乃木町東洋協會旅順醫學校內滿蒙研究會）
▲戰友（十二月號）定價金七錢東京麴町區飯田町二ノ五二帝國在鄕軍人會本部

孫逸仙の委任狀

軍艦肇和にて發見

[illegible]支那政府の[illegible]の利益を削りと心得るが如く思はるゝ一派の御關紙として目せられたる上海のノースチャイナデーリーニユー[illegible]の北京特電[illegible]今回の[illegible]に付き[illegible]其の報告を基礎として北京外人間の輿論なりとて述べて曰く是に據り孫逸仙は最早や單に政治的避難者にあ[illegible]らず[illegible]海通信員は革命黨が用ゐし武器は日本製にして過日日本人の武器密輸入[illegible]と關[illegible]せる[illegible]爲め充分に調査すべき筈のものとなれりと打電せり[illegible]支警告は是等の計畫を知悉せるを話[illegible]英人は何故に日本に重荷を負はさんと努め彼等私人の更に深く關係せる[illegible]にして日本在留の革命黨員の[illegible]子が偶々此計畫を爲すに至りしもの[illegible]政府が孫を怖るゝ[illegible]知れずと云ふに一致せり（上海）

純東京式の御化粧は
御園白粉に限る
東京の方の御化粧が際立つて美しく見えますのは不斷御園白粉を御使用になつてゐるからで御座います。

貴婦人風の御化粧は
御園白粉に限る
畏き邊りの御料に召させられたる以來、貴婦人界の御化粧料は全く御園白粉獨占の有樣で御座ります。

女學生向の御化粧は
御園白粉に限る
附けて厭味がなく艶々しき香がせず、極く手輕に御化粧の出來る點に於て當今御園白粉が第一です。

今の季節の御化粧は
御園白粉に限る
製造本舗　伊東胡蝶園
發賣元　丸見屋商店

優等清酒
一鶴
京城本町四丁目電話六五四番
本莊酒店

新刊書御案内

書名	著者	價
朝鮮鐵道旅行案内	鐵道局	、七〇
春の水	ツルゲーニエフ	、五五
佛蘭西語詳解	前田　太	、七〇
明治大正二萬三千句	高橋暁水	、八〇
債權者の權利と損害豫防策	難波誠四郎	、九〇
契約書式大全	鵜谷正司	
警察行政要義	小濱松次郎	二、〇〇
代數は如斯解義せよ	眞邊　仙一	、七五
化學は如斯練習せよ	小林　盈一	、七五
美人禰	留岡　淸泉	一、〇〇
相場用語全集	飛山　泰	一、〇〇
良心	三木　露風	一、〇〇
うき世	柳川　春葉	一、二〇
金剛草	夏目　漱石	一、二〇
自然の奇觀	柿山又次	一、五〇
茂睡考	[illegible]	一、五〇
現代の政治	吉野　作造	一、三〇
恩給大鑑	伊藤　正懿	二、五〇

京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三
大阪屋號書店

防水液の革命

現代の要求以上に絶大なる効力と確信を以て發賣せる鷲印防水液は傘を要せざる理想的雨具として需要甚大なるイタリアンクロース防水マントに應用し來りたる衛生化學上の研究を盡して案出せる完全無二の防水液なれば在來の防水劑とは異にし一種類に限り應用せるが如き不完全なるものに非ず絹布、羅紗、製麻木綿其他總て目的の織物、帽子、洋傘等に至るまで本防水液を使用せば完全なる防水性織物となり其の上、縞柄、光澤、地質等は加工前と少しも變りなく其效顯甚大にして使用法頗る簡易なり論より證據一度お試めしを乞ふ

一ポンド入金八十錢（送料十二錢）
説明書御申込次第進呈
イタリアンクロース防水マント發賣元
洋毛織物　羅紗地質　防水地質　卸商
東京市神田區東龍閑町九番地
嶋村友三郎商店
電話神田　壹二六番　七五四番　七五三番
振替口座東京　壹〇壹二八番

吾が社は、天下に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、別種にも仕掛けもあるのではありません。只世界の有らゆる痳病梅毒藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる痳病、梅毒藥でも、効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月八日の京城日報を御覽下さい。●りん病藥壹週間分普通壹圓貳拾錢特製貳圓●ばい毒藥一週間分普通貳圓特製參圓●照會は返信券を要す

りん病　ばい毒　專門藥房
京城南大門外停車場通り
ドラッグ商會　朝鮮本部
本舗　大阪　合資會社　ドラッグ商會
電話　二五六七番　振替京城四六七番

最上醬油
京城本町三丁目
田中支店釀造
電話七六四番

年末御贈答用には天狗印銘茶をお用ひあれ
本月中壹圓以上御注文のお方へ添物進呈仕候
於各博覽會共進會品評會賞牌受領
於大典記念京都博覽會銀牌受領
登錄商標
銘茶
銘茶定價（一斤百六十匁に付）
玉露製（一斤百六十匁に付）金七圓・金五圓・金四圓・金三圓・金二圓半・金二圓・金一圓半・金一圓卅錢・金一圓 [illegible]
一貫目箱詰特價　十圓五十錢・八圓・七圓五十錢 [illegible]
煎茶製（一斤百六十匁に付）金二圓・金一圓卅錢・金一圓・金八十錢・金七十錢・金六十錢・金五十錢・金四十五錢・金四十錢・金卅五錢 [illegible]
一貫目箱詰特價　六圓卅錢・五圓・四圓半・四圓・三圓半・三圓卅錢 [illegible]
▲右の他濃茶薄茶紅茶折物粉茶あり
▲御注文は前金ならば送費も安く直接配達す又は代金引替にても宜し郵券代用にても宜し或は振替大阪八九二一番へ拂込被下度最も御便利の法に御座候
▲送費は一切買方御負擔の事
▲取次販賣御希望の方は特に御相談申上候
▲弊店製銘茶錄定價表あり申込次第送呈す
▲壹貫目箱詰販賣は共同購入に最も御利益に御座候
御手數ながら御注文の際此新聞名御書き添へ願上候
御茶調進所
山城綴喜郡青谷村字中長池郵便局區內
碧翠園茶舗
電話長池十四番・振替大阪八九二番